



山口市スマートシティ推進ビジョン(兼) 官民データ活用推進計画(素案)について

- I 前回協議会での意見の整理……………P2
- II ビジョン策定の方向性…………… P4
- III 重点プロジェクトの検討…………… P7
- IV 今後のスケジュール……………P72

令和3年10月15日

山口市総合政策部スマートシティ推進室

I 前回協議会での意見の整理

I 前回協議会での意見の整理

(1) ビジョン策定の方向性について

- スマートシティは、市民生活が豊かになるという目的もあることから、目指すまちの姿に、「豊かに」という言葉を追加し、「誰もがいきいきと豊かに暮らせる持続可能なまち 山口」としてはどうか。
- 主役はあくまでも市民であるということを意識した言葉使いを心掛けるべきである。
- 10、20年後の山口市がどのようなになっているか思い描けるようなものが必要である。
- スマート“ライフ”シティの取組を通じて、市民生活がどのように変わっていくかを示す必要がある。

(2) プロジェクト案の検討について

- 企業や公的機関等とのヒアリングに基づくプロジェクトの検討はされているが、生活者の視点でのヒアリングやプロジェクトの検討をする必要がある。
- 生活者の視点での検討する上では、ペルソナ(※1)を設定することが有効である。
- プロジェクトを検討する上では、根本的な課題がなにかを明確にする必要がある。
- 根本的な課題を明確する上では、カスタマージャーニーマップ(※2)という手法が有効である。
- 意識しなくても自然に使うことができるスマート化を目指してはどうか。
- 楽しみながら、日常的に取り入れる中で、便利さや豊かさを享受できる仕組みが必要である。
- プロジェクトの検討に当たっては、自立化できるようにマネタイズの視点が重要である。

※1 ペルソナ:サービスや商品を開発する際に、具体的なユーザー像をイメージしやすいように、仮想の人物を定義するもの

※2 カスタマージャーニーマップ:時系列でユーザーの行動・思考・感情を可視化し整理することで、今まで見えなかったユーザーの課題を発見し、新たなサービス等の創出につなげるために作成するもの

(3) その他全体を通じた御意見

- デジタル技術ですべての課題を解決することはできないので、デジタル技術を使う必要性を十分に検討する必要がある。
- 情報セキュリティの観点においては、CISO(Chief Information Security Officer)が必要である。

Ⅱ ビジョン策定の方向性

Ⅱ ビジョン策定の方向性

(1) ビジョン素案の構成

前回協議会でお示した骨子案をもとに、委員やオブザーバーの皆様の御意見等を踏まえ、下記の構成で素案を整理した。

I ビジョン策定の背景

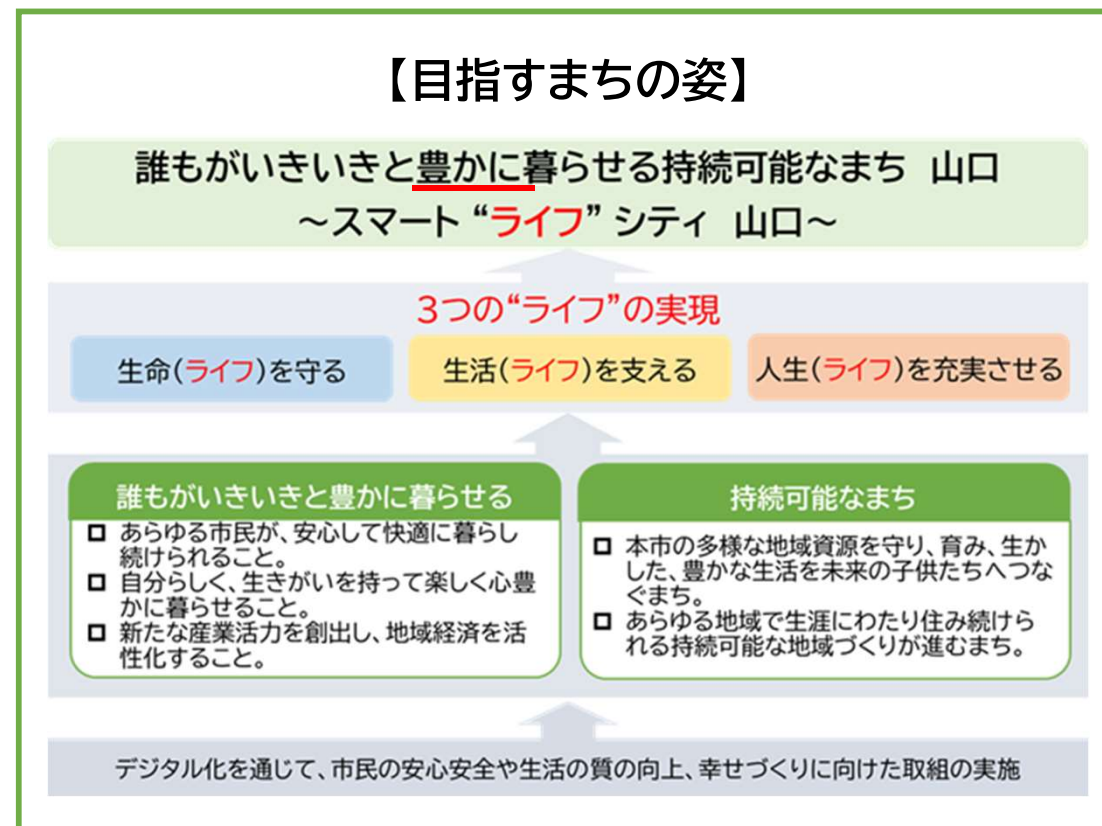
- 1 時代の潮流
- 2 国の動向
- 3 県の動向
- 4 本市の現状と課題

Ⅱ 推進ビジョン

- 1 ビジョン策定の目的
- 2 目指すまちの姿
- 3 ビジョンの位置付けと計画期間
- 4 目指すまちの姿の実現に向けた重点領域
- 5 官民データ活用推進計画
- 6 ビジョンの推進体制

Ⅲ 重点プロジェクト

- 1 重点プロジェクトの位置づけ
- 2 重点プロジェクトの実施体制
- 3 重点プロジェクト
- 4 重点的にプロジェクトを進める地域



(2)官民データ活用推進計画(「セキュリティ及び個人情報の適正な取扱いの確保」について)

- 官民データの利用環境の整備等に際してのセキュリティ及び個人情報の適正な取扱いの確保については、「サイバーセキュリティ基本法」、「サイバーセキュリティ戦略」、「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」、「山口市情報セキュリティ基本規程」に基づく適切な情報システムの運用体制を確保します。
- 「個人情報の保護に関する法律」、「山口市個人情報保護条例」及び「山口市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例」に基づく適切なデータの公開、運用を図るとともに、オプトインや匿名加工の方法など、各種情報・データの収集・蓄積等の仕組やルールを整備し、データ活用に係る地域住民の不安の払拭に努めます。

【山口市情報セキュリティ基本規程(以下「規程」という。)に定める山口市セキュリティ体制】

責任者		備考
最高情報セキュリティ責任者(CISO)	副市長	本市におけるセキュリティ管理を総括する
システム管理責任者		所管する情報システムの管理及び運用にかかわる責任を負う
統括管理責任者	規程別表第2に定める統括管理システムを所管する課等の長	
個別管理責任者	規程別表第2に定める個別管理システムを所管する課等の長	
情報管理責任者	規程別表第3に定めるシステムの業務を所管する課等の長	所管するすべての電子情報の管理責任を負う
端末機等の管理責任者	システム管理責任者	所管する端末機等の円滑な運用を図るため、管理等を行う
端末機等の使用責任者	端末機等の配布を受けた職員	端末機等の管理責任者の指示に従い、適切に使用する

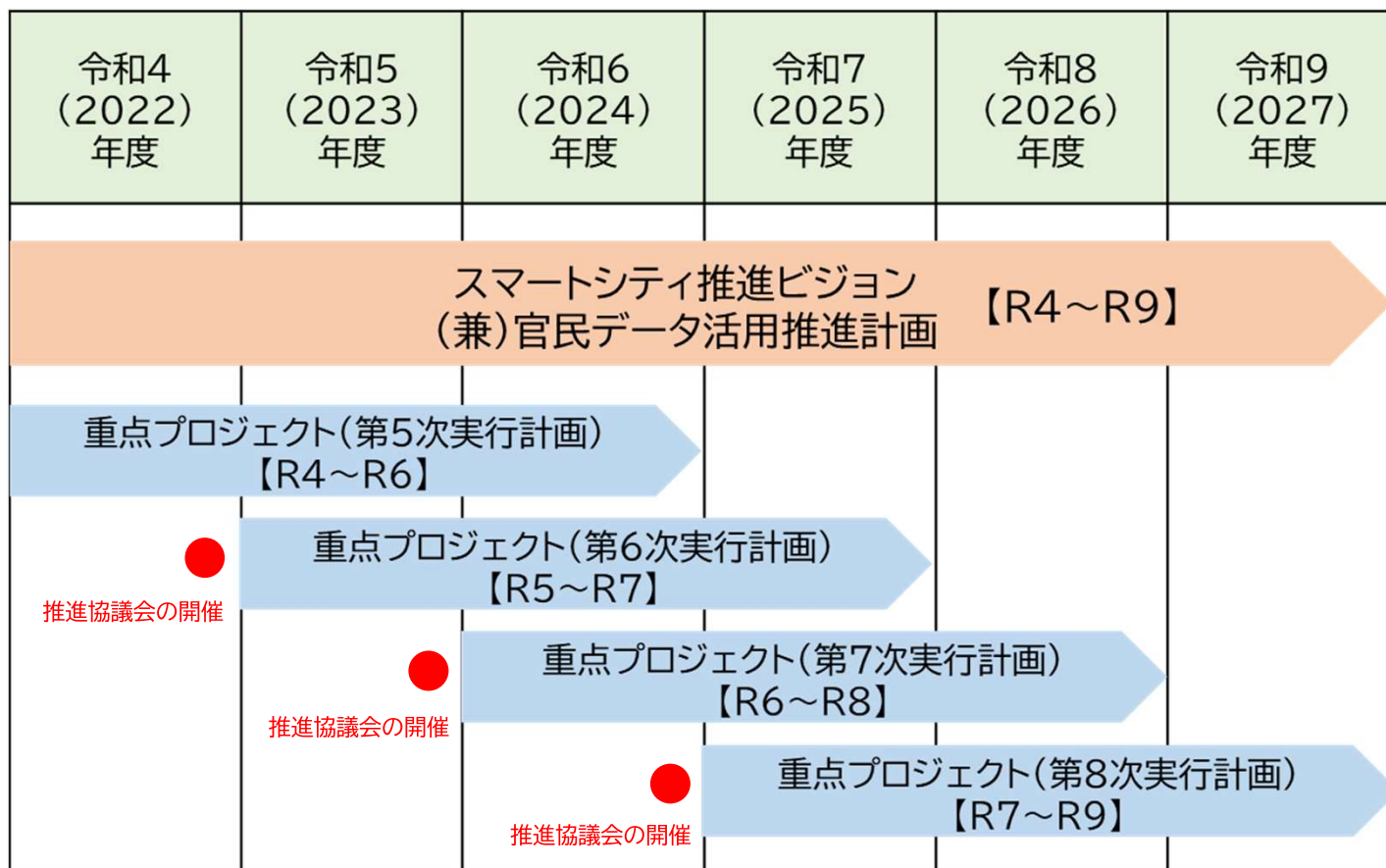
Ⅲ 重点プロジェクトの検討について

Ⅲ 重点プロジェクトの検討について

(1) 重点プロジェクトの位置づけ

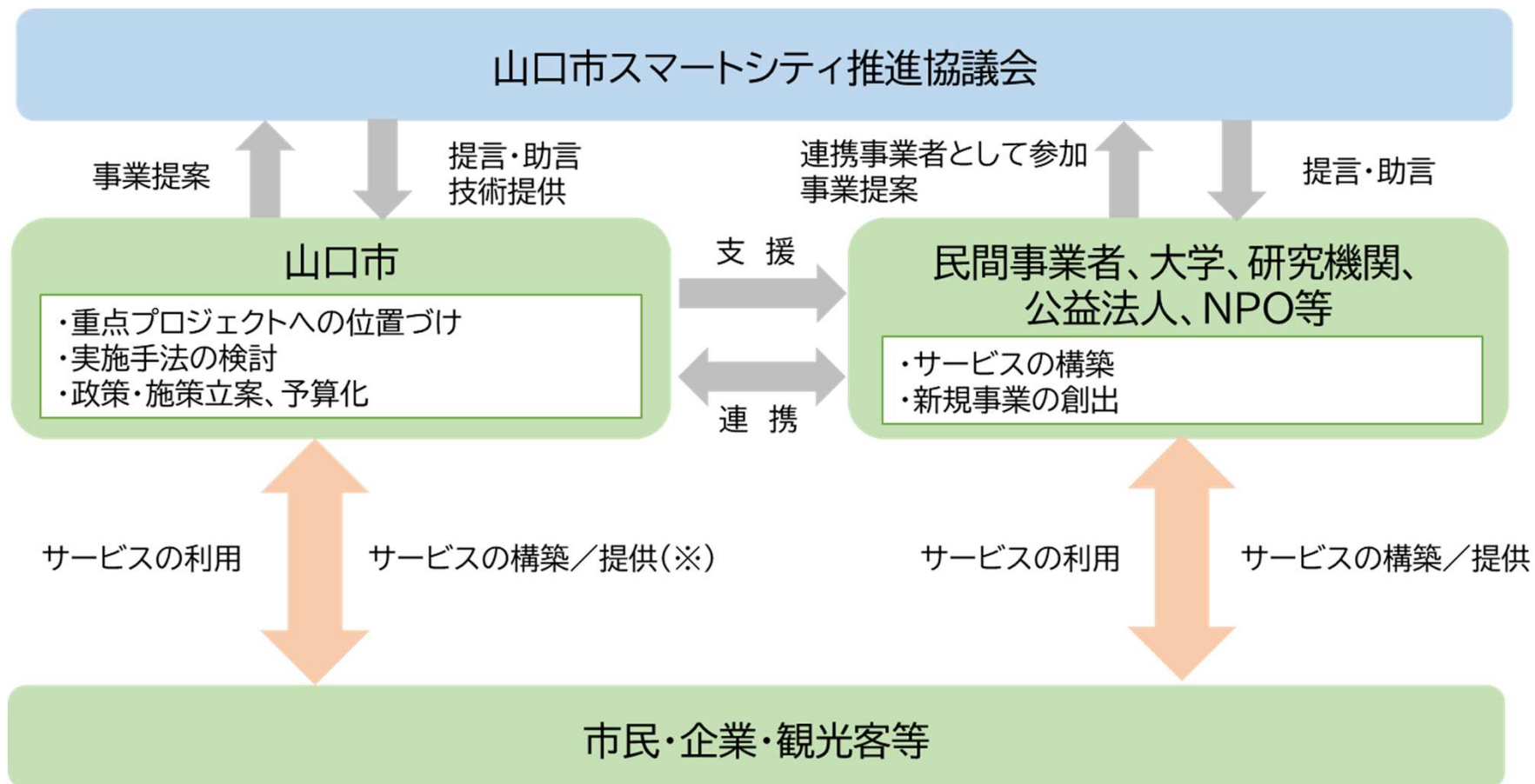
本ビジョンの目指すまちの姿「誰もがいきいきと豊かに暮らせる持続可能なまち 山口 ～スマート“ライフ”シティ 山口～」の実現に向けて、第二次山口市総合計画実行計画に位置つける政策や施策に基づく事業を展開する。

その上で、本ビジョンの目指すまちの姿に向けた3つの重点領域に対し、横断的に、重点的に、デジタル化等を通じて対応すべき取り組みを、重点プロジェクトとして位置づけます。



(2)重点プロジェクトの実施体制

重点プロジェクトについては、スマートシティ連携事業者を中心に、産学公民が連携し、それぞれが有するノウハウを最大限に生かして、サービスの構築を図り、市民等へのサービスの提供を行います。



※委託契約やPFI、指定管理といった官民連携の手法に加え、成果連動型民間委託契約方式(PFS:Pay For Success)という新たな官民連携の手法を導入も検討

(2)ビジョン策定と平行した取組

①ペルソナの設定とカスタマージャーニーマップの手法による分析

生活者の視点を第一にしたプロジェクトの検討に向けて、下記の5つの山口市民ペルソナを統計データ等に基づき設定。子育て世代を対象としたカスタマージャーニーマップの手法による分析の実施。



単身高齢者



高齢者世帯



ミドル世帯



学 生



子育て世帯

生活者視点でのヒアリング等を実施済み

カスタマージャーニー
マップの手法による
分析の実施

【分析方法】

- 山口情報芸術センターアーティストックディレクター 会田大也委員、NPO法人あっと代表理事 藤井智佳子委員と連携して、子育て世帯の方々を対象に、カスタマージャーニーマップの手法を通じて、生活者視点でのプロジェクト検討に向けたワークショップを実施した。
- ワークショップでは、日常生活で感じる困りごとや改善してほしいことなどを1日の生活におけるシーンごとに挙げていただき、課題の整理を行った後に、解決するための対応策について検討した。
- ワークショップ終了後、子育て世帯におけるプロジェクト検討に向けた根本となる、子育て世帯特有の課題の分析を行った。

・対象者

年齢	: 20代~40代
区分	: 専業主婦・共働き
子どもの就学状況	: 未就学児~中学生の子供がいる

上記に該当する9名の方を対象に実施。

・カスタマージャーニーマップ(別紙「参考1」参照)



【分析結果(プロジェクト検討に向けた視点)】

生活者目線で、親が過ごしやすく、生活しやすい環境を整えることが重要である。

↓ そのためには

子育て世代が、当事者同士がつながり、困りごとを共有し、支え合える環境づくりが必要である。

↓ そのためには

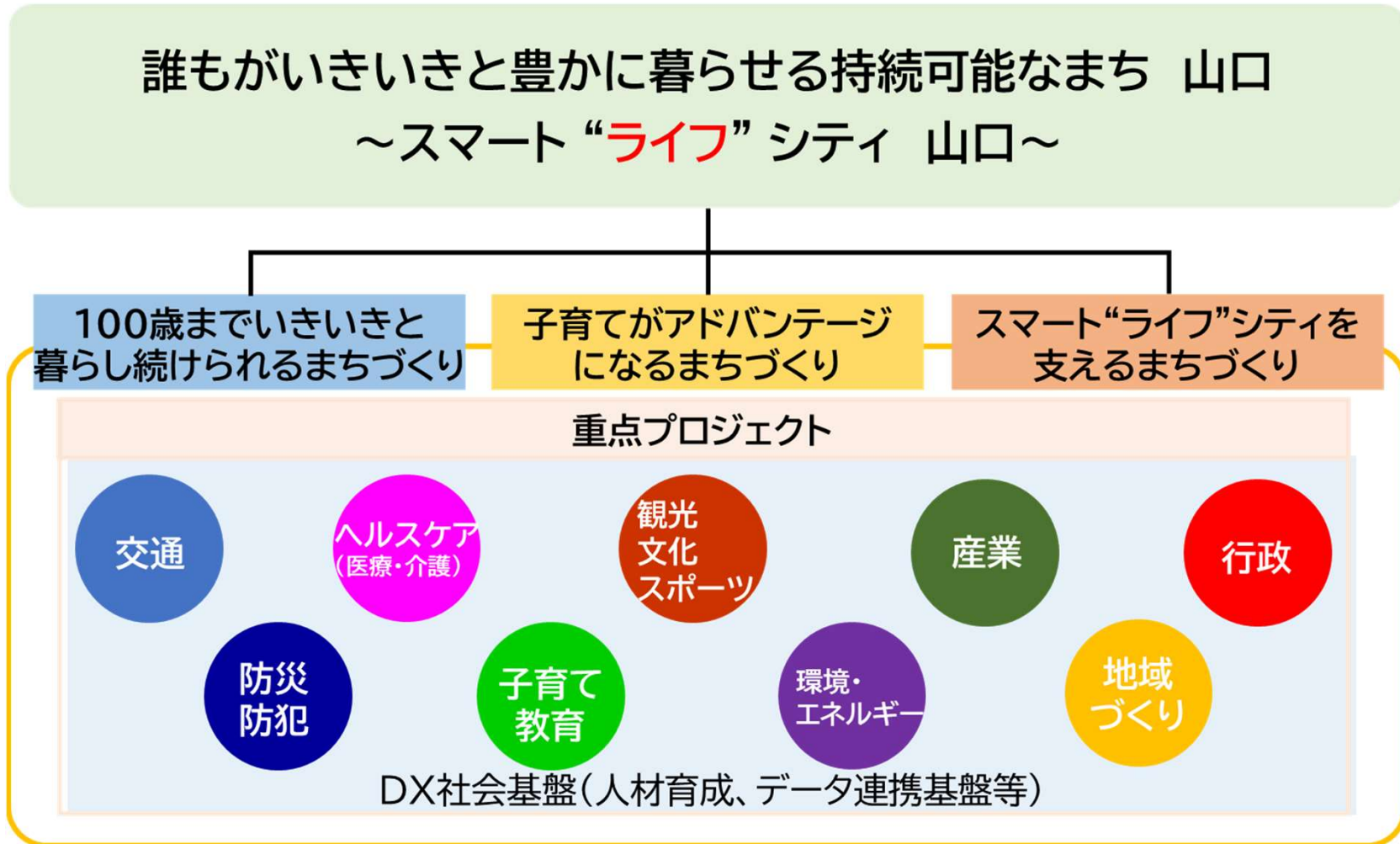
子育て世代が、地域社会とつながったり、持っている知識やスキルを地域等で生かすための仕組みが必要である。

↓ そのためには

何種類もアプリを作るのではなく、既存のアプリを様々な分野に横展開していく方が良い。

②社会実装に向けた分野ごとの取組

各分野ごとの課題に対するプロジェクトの具体化に向けて、現時点での重点プロジェクトを地域や事業者、大学などの皆様と共有し、御意見や御提案等をいただいています。また、同時に、ビジョンの策定と並行する形で、社会実装も進めています。



ア スマート空港タクシー(乗合タクシーサービス)の導入

いさむや第一交通とREAと連携し、山口宇部空港と山口市湯田温泉(市街地)の間における、市民や観光客、ビジネス客などのスムーズな移動手段の確保に向けた、スマート空港タクシー(乗り合いタクシーサービス)の導入を実施しました。

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

乗合
タクシーで
直行!

山口市湯田温泉 ⇄ 山口宇部空港

Smart airport taxi

スマート
空港タクシー

通常料金
片道 約 10,000 円 / お一人様 → **3,000 円** ~ / お一人様

アプリで簡単予約!

当日・直前のご予約可能! ※3時間前まで予約可能



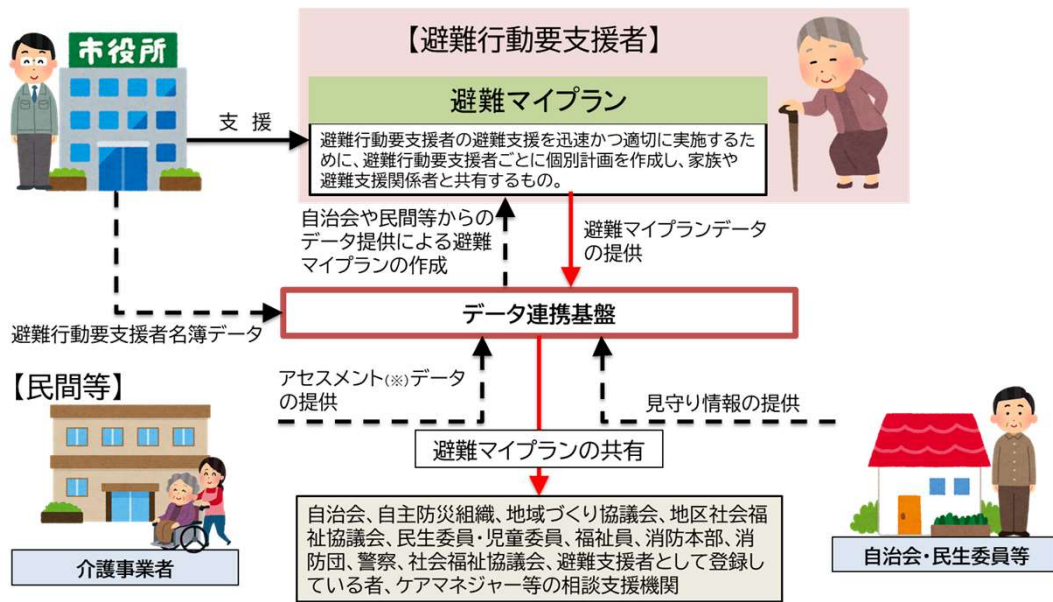
【出典:山口第一交通グループHPより抜粋】

イ データ連携による避難体制の構築

誰もが安全安心に暮らせるまちの実現に向け、防災分野において、官民データの連携により、避難マイプランの作成や共有、活用などが可能となるよう、実装を進めています。現在、NTT西日本山口支店と連携し、データ連携に必要な基盤の構築に向けた検討を進めています。

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・スポーツ	環境・エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤人材育成、データ連携等)		

【データ連携による避難マイプランの作成、共有のイメージ図】

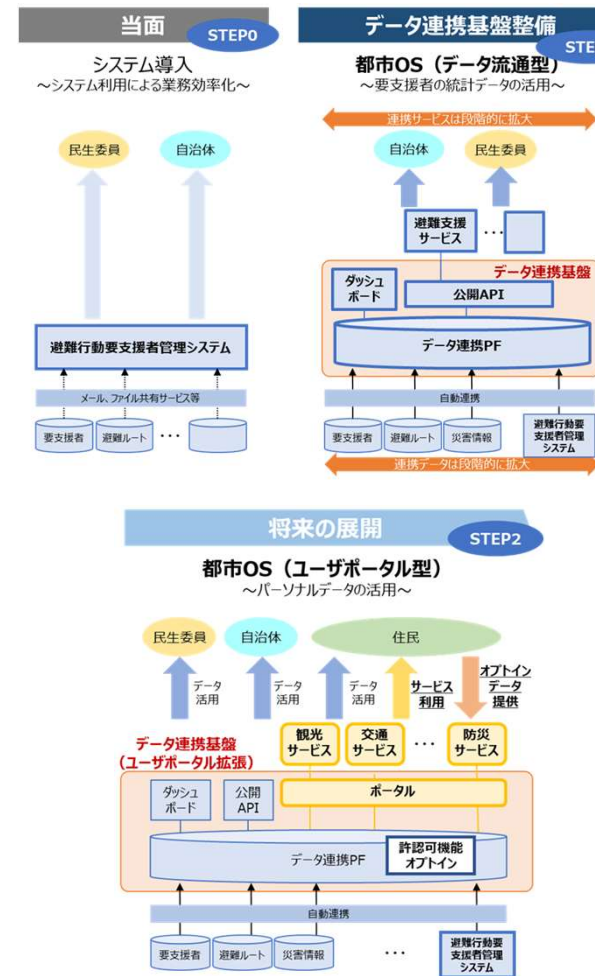


【避難マイプランの共有による効果】

平常時	災害時	避難時
<ul style="list-style-type: none"> 声かけ、見守り活動 防災訓練 救急隊対応 	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動の支援 安否確認 	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援情報の提供 介護サービス提供

※アセスメント: 利用者の情報収集及び課題分析し、利用者の個々に応じた課題やニーズを明らかにすること。

【データ連携基盤構築に向けた今後の取組の方向性】



ウ 山口情報芸術センター(YCAM)と連携した教育プログラムの推進

山口情報芸術センター(YCAM)と連携し、現在取組を進めている「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」の一環として、デジタル技術を活用した教育プログラムを実施しました。

- ドローンや360度撮影できるカメラ、学習用端末などを活用した地域の魅力を発見する学習の実施【生雲小学校にて実施】



- メディアテクノロジーが組み込まれたボールを使って行うオリジナルの体育祭競技を開発するスポーツハッカソンの実施【湯上中学校にて実施】



交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産 業	地域づくり	行 政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

工 地域医療体制の充実に向けたDXの推進

医療機関等と連携し、デジタル技術等を活用をすることで、市民の皆様が今まで以上に安全安心に暮らせるまちの実現に向けた取組を進めています。

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

【具体的な取組】

- 母子手帳アプリ「やまここ」の導入や、「やまここ」を活用した子育てオンライン相談の開始
- 新型コロナワクチン接種のインターネット予約を可能とする「ワクチン接種予約受付システム」の導入
- 救急画像等伝送システム「やまぐちADネットプラス」※の運用開始
- 救助用・災害用ドローンの配備
- 消防通信指令業務の共同運用に向けた取組の推進

※救急画像等伝送システム「やまぐちADネットプラス」

救急現場から医療機関への電話による情報伝達に加え、タブレットPCを用いた動画・静止画のリアルタイム伝送により、ケガや病気の状態を視覚情報として提供。(県内初の取組)

【やまぐちADネットプラス連携医療機関(中等症以上の受入を担う救急医療機関)】

- 山口赤十字病院(山口市)
- 済生会山口総合病院(山口市)
- 小郡第一総合病院(山口市)
- 山口県立総合医療センター(防府市)



【救急画像等伝送システム「やまぐちADネットプラス」】



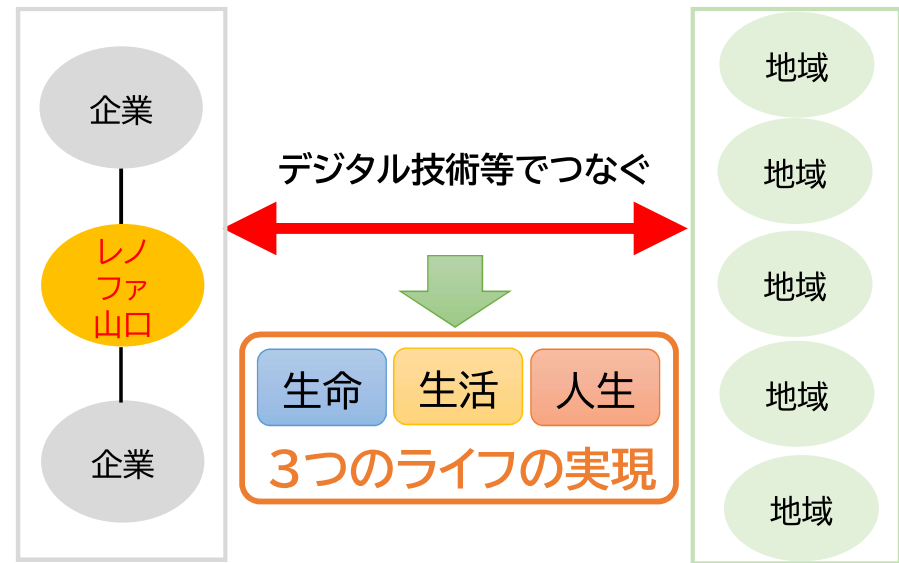
【救助用・災害用ドローン】

オ プロスポーツの資源を活用した21地域でのスマート“ライフ”シティの推進

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

市内21地域において、地域への愛着や生きがいを持って楽しく暮らし続けることができるまちとなるよう、レノファ山口のリソースを活用して、レノファ山口やその関連する企業など様々な主体と連携し、デジタル技術等を通じて各地域で持続的に多様な事業展開が可能となるような仕組みづくりを進めています。

現在、湯田地域、吉敷地域、徳地地域、平川地域、大歳地域、秋穂地域の6地域において、下記のような取組の実施に向けて協議を進めています。



具体的な取組例

(1) 多世代交流や生きがいづくりの推進

- ・パブリックビューイングの実施
- ・オンラインによる選手との交流

(2) 健康づくりの推進

- ・レノファ健康・元気体操の実施

(3) 地域への愛着の醸成

- ・ご当地レノ丸の作成

(4) 市民や企業、地域団体等と連携した、地域循環共生圏の構築

- ・地域や企業等と連携した地域課題解決に向けた取組を検討するセッションの実施
- ・レノファ山口FC公式アプリの機能拡充



(株)レノファ山口提供



(株)レノファ山口提供

力 脱炭素先行地域づくり

脱炭素社会の実現に向け、現在、NTT西日本と中国電力と協議を進めています。国において、2030年度までに少なくとも100か所の「脱炭素先行地域」を作ることとされている中、本市では、まずは、清掃工場、最終処分場跡地、山口県農業試験場等が立地する大内地域や、広大な農地や森林等を有する農山村地域をはじめとした市内各地域をモデルとして脱炭素先行地域づくりの検討を進めています。

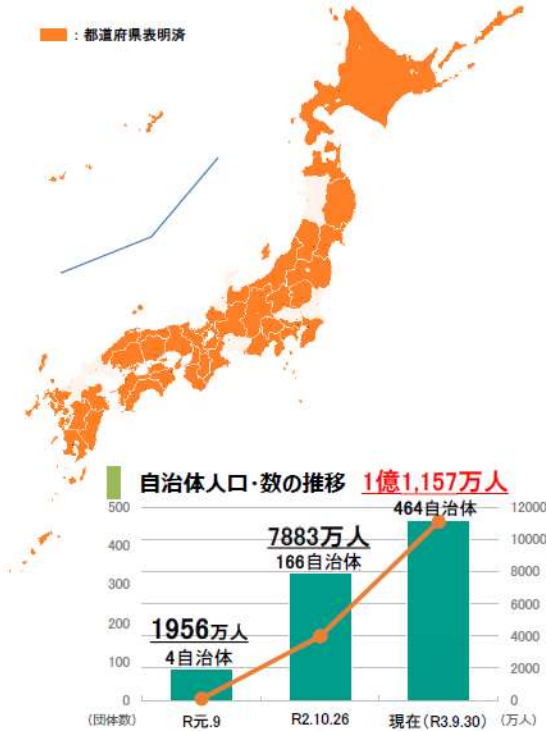
交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・スポーツ	環境・エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

2050年 二酸化炭素排出実質ゼロ表明 自治体 2021年9月30日時点

■ 東京都・京都市・横浜市を始めとする464自治体 (40都道府県、278市、10特別区、114町、22村) が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明。表明自治体総人口約1億1,157万人※。

※表明自治体総人口 (各地方公共団体の人口合計) では、都道府県と市区町村の重複を除外して計算しています。

表明都道府県 (1億72万人)



表明市区町村 (6,530万人)

北海道 札幌市 旭川市 稚子市 紋別市 網走市 名寄市 釧路市 帯広市 旭川市 稚子市 紋別市 網走市 名寄市	宮城県 仙台市 石巻市 仙台市 仙台市 仙台市 仙台市 仙台市 仙台市 仙台市 仙台市 仙台市 仙台市	茨城県 水戸市 土浦市 古河市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市	栃木県 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市 宇都宮市	埼玉県 さいたま市 さいたま市 さいたま市 さいたま市 さいたま市 さいたま市 さいたま市 さいたま市 さいたま市 さいたま市 さいたま市 さいたま市	東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都	新潟県 新潟市 新潟市 新潟市 新潟市 新潟市 新潟市 新潟市 新潟市 新潟市 新潟市 新潟市 新潟市	山梨県 山梨市 山梨市 山梨市 山梨市 山梨市 山梨市 山梨市 山梨市 山梨市 山梨市 山梨市 山梨市	長野県 長野市 長野市 長野市 長野市 長野市 長野市 長野市 長野市 長野市 長野市 長野市 長野市 長野市	愛知県 名古屋市 名古屋市 名古屋市 名古屋市 名古屋市 名古屋市 名古屋市 名古屋市 名古屋市 名古屋市 名古屋市 名古屋市	大阪府 大阪市 大阪市 大阪市 大阪市 大阪市 大阪市 大阪市 大阪市 大阪市 大阪市 大阪市 大阪市	兵庫県 神戸市 神戸市 神戸市 神戸市 神戸市 神戸市 神戸市 神戸市 神戸市 神戸市 神戸市 神戸市	徳島県 徳島市 徳島市 徳島市 徳島市 徳島市 徳島市 徳島市 徳島市 徳島市 徳島市 徳島市 徳島市	熊本県 熊本市 熊本市 熊本市 熊本市 熊本市 熊本市 熊本市 熊本市 熊本市 熊本市 熊本市 熊本市
--	---	--	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---

令和3年9月末時点で、山口県内で「ゼロカーボンシティ宣言」を表明している自治体は下関市のみです。

* 朱書きは表明都道府県、その他の色書きはそれぞれ共同表明団体、市区町村の表明のない都道府県名は省略

キ お金の地域内循環の推進

本市が導入した株式会社pringのプラットフォームを活用して地域内経済循環による地域経済の活性化に向けた取組が進んでいます。

(ア)「エール！やまぐち プレミアム共通商品券」

店舗側のキャッシュレス化を促進すると同時に、スマホ1つで買い物が可能となるなど利用者側(市民)の利便性の向上を図るために、「エール！やまぐち プレミアム共通商品券」のデジタル化を実施しました。

1,415事業者が登録し、発行した商品券(合計20万セット)のうち、23,946セットをデジタル商品券として発行しています(購入者数5,190人)。



(イ)各経済団体が実施するデジタル商品券の発行支援

株式会社pringの仕組みを活用して、「たらふくクーポン山口(市内4料飲組合が発行)」や「山口市中心商店街プレミアム付き商品券(山口市商店街連合会が発行)」等のデジタルクーポン券の発行の取組が進んでいます。

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・スポーツ	環境・エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

たらふく飲んで! たらふく食べて!

30% プレミアムクーポン

EAT! DRINK! ENJOY!
TAKAFUKU COUPON YAMAGUCHI

山口市内4料飲組合 加盟飲食店で使えます。

地元飲食店を応援しよう!!

スマホアプリを使ったプレミアム御飲食券

たらふくクーポン山口

スマホで買って スマホで支払い

このアプリを登録してください(無料)

販売価格	1セット10,000円(13,000point)
販売期間	第1期 2021年10月4日～11月30日 第2期 2021年12月1日～12月31日
利用期間	2021年10月4日～2022年2月28日(全販売期間共通)
購入上限	おひとり様10セット 販売期が変われば、また10セット購入できます。
購入方法	スマホアプリpringから購入

山口市中心商店街

プレミアム付き商品券

10,000円

13,000円分

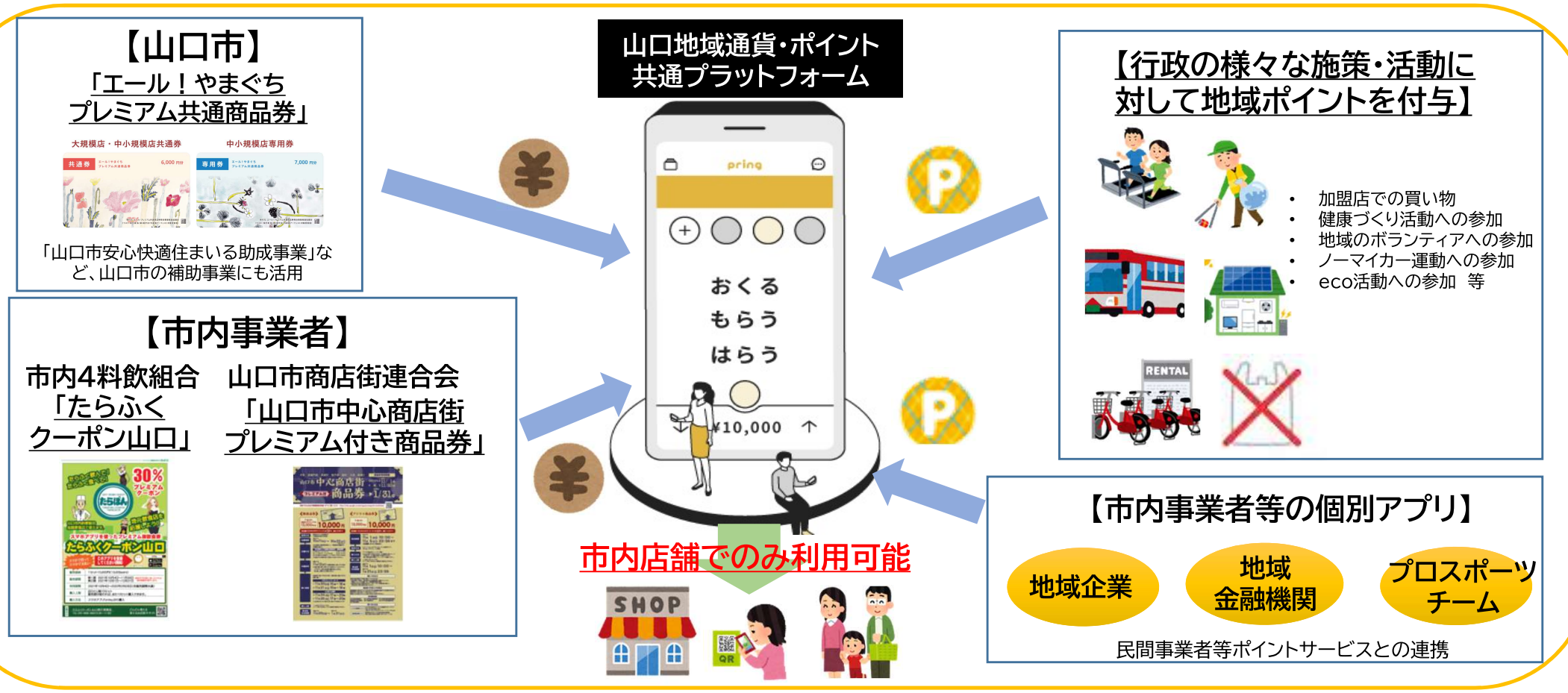
30%OFF

11/10 10:00～11/20 23:59

11/20 10:00～1/31 23:59

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

【お金の地域内循環の将来イメージ図】



地域で生み出したお金を、地域で消費する地域内循環による地域経済の活性化

ク 市内企業のDX推進

山口商工会議所と連携し、市内企業のDXの推進や、産業交流スペース「Megriba (メグリバ)」を活用したデジタル人材の育成などに向けた取組等を進めています。

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

【具体的な取組】

- 「山口商工会議所広域ビジネスサポートセンター」をKDDI維新ホール 産業交流スペース「Meguriba (メグリバ)」内に開設
- デジタル商品券の発行(エール！やまぐちプレミアム共通商品券の発行)
- 「山口市地域活性化のための団体支援・DX促進補助金」を活用した市内企業や業界団体等に対するDXの促進(「たらふくクーポン山口(市内4料飲組合が発行)」や「山口市中心商店街プレミアム付き商品券(山口市商店街連合会が発行)」等のデジタルクーポン券の発行)
- キャッシュレスの導入やSNSの活用、業務効率化などデジタル技術等の導入に向けた個別相談会の開催や、DXをテーマにしたセミナーの開催



山口県広域商工連携事業

事業承継×DXセミナー

今始めよう!

**デジタルで未来に繋がる
企業づくり**

10月8日(金)
12:45~15:30

会場 KDDI維新ホール2階 201会議室
(山口市小郡会館1-1-1)

またはオンライン受講
会場受講: 70名
オンライン受講: 50名

受講料 無料
(要申込)

DXとはなにか?
DXとは、デジタル技術を活用して、業務効率化や顧客体験の向上を図ることです。

小さなことから始めよう!!
地方中小企業のDX化取組

**若手企業は
賢く賢く
賢く賢く**

【山口市デジタル推進事業】

人手不足なので、
どうにか業務を
効率化したい!

相談無料
予約制

ITに詳しく
なくても
できる?

そのお悩み、
デジタル化でなんとかなるかも

IT・デジタル導入相談会

最近聞く
DXって何?
自社にも関係
ある?

キャッシュレス
や予約システムを
使ってみたいけど
どうしたらいい?

新規顧客を
増やしたいけど
SNSの活用方法
が分からない

経理にかける
時間を短縮
したい!

【開催日】
8/16 (月)、8/23 (月)、9/1 (水)、9/16 (木)
各日 13:00~16:00 (1回1時間程度) ※9/16のみ9:00~12:00

【開催場所】
山口商工会議所 広域サポートセンター
(山口市小郡一丁目1-1 KDDI 維新ホール1階)

ケ スマート農業の推進

(ア)中山間地域におけるスマート農業の導入支援

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

山口大学と連携し、人口減少や高齢化、農業従事者の後継者不足等が進んでいる中山間地域である、「阿東地域」と「徳地地域」の2地域において、小規模農家の作業効率の向上等に向け、ほ場の状態等をリアルタイムに検知できる無線センサネットワークデバイスを用いた実証事業の取組を進めています。

(対象作物:夏秋トマト、いちご、ピーマン、やまのいも)

また、同時に、スマート農機等の導入を予定する農業経営体(12法人を予定)を対象に、導入前と導入後に調査を行い、導入効果等の検証と将来のスマート農業化における課題抽出等を行うこととしています。

【無線センサネットワークデバイスを用いた実証事業実証イメージ】



(イ)スマート農機の導入支援

就農者の作業の効率化や負担軽減に向けたスマート農機等の導入支援に取り組んでいます。

(現在、市内の10経営体に対して支援を行っています)

コ 公共施設の予約、解錠、決済のスマート化

マイナンバーカードの公的認証を活用して、スマホ1つで、公共施設の予約(申請)、決済、鍵の解除等を可能とする取組を開始します。これによって、これまで施設の利用手続きをするために何度も窓口へ足を運んでいたものが、スマホを利用し1回で済むことになり、市民の利便性の向上が図られます。

まずは、株式会社LINEと連携し、今年冬頃に平川地域交流センターにおいて実証事業に取り組みます。

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・スポーツ	環境・エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		



施設検索・予約

トーク画面から、ご利用のTINK Deskを選択。各施設の状態の確認・予約が可能です。



利用終了・お会計

ご利用料金の決済もLINEから！終了15分前にはメッセージが来るので、予約時間を気にせず仕事に集中できます。予約終了時刻の後に他の方の予約がなければ、延長して利用することも可能です。



解錠・設備の利用

鍵の解錠はトーク画面のメニューから行います。その他施設の使用方法もLINEで直接確認できます。



【現時点でのデモ画面と想定フロー図】

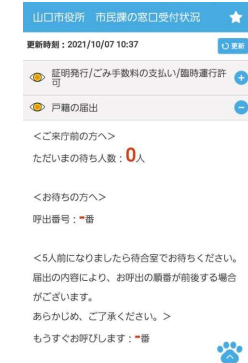
サ スマート自治体の推進

連携事業者等と連携し、市民サービスの向上と業務の効率化を図るスマート自治体の推進に向け、「書かなくてもいい窓口」、「待たなくてもいい窓口」、「移動しなくてもいい窓口」、「行かなくてもいい窓口」などへ段階的な転換を進めています。

【具体的な取組】

- インターネットで窓口の混雑状況を確認できるサービスの導入
- 転入・転出等の住民異動届を事前に作成できるサービスの導入
- 行政窓口におけるキャッシュレス決済の導入
- 本庁と地域交流センター等を画面でつなぐオンライン相談の実証
- 母子手帳アプリ「やまここ」の導入や、「やまここ」を活用した子育てオンライン相談の開始【再掲】
- 新型コロナワクチン接種のインターネット予約を可能とする「ワクチン接種予約受付システム」の導入【再掲】
- 山口市LINE公式アカウントの充実
(防災分野のプッシュ配信機能の追加、新型コロナワクチン接種予約システムとの連携等)
- AI議事録作成支援システムの共同利用に向けた実証
- 電子契約サービスの推進
- 電子入札サービスの推進
- AI・RPAを活用した内部管理業務の効率化の推進
- スマートオフィスの実証(フリーアドレスやセキュアプリントの導入等)

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・スポーツ	環境・エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		



【スマホ等で窓口の混雑状況を確認】



【スマートオフィスの実証】

シ デジタル人材の育成

(ア)山口大学と連携したDX研修の実施

行政におけるDXの推進に必要な基礎知識や進め方等を習得するため、山口市の若手職員を対象とした研修を実施しました。

(当日の配布資料については、「参考2」参照。)

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産 業	地域づくり	行 政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

【対象者】

入庁15年目以下の主任級職員90名

【講師】

山口大学理事・副学長(山口市スマートシティ推進協議会会長) 松野 浩嗣氏

【研修内容】

- ・本市のスマートシティの取組について (デジタル推進課、スマートシティ推進室)
- ・DXを主軸にしたスマート“ライフ”シティの創造(松野 浩嗣氏)

(イ)G's ACADEMY(ジーズアカデミー)の開講

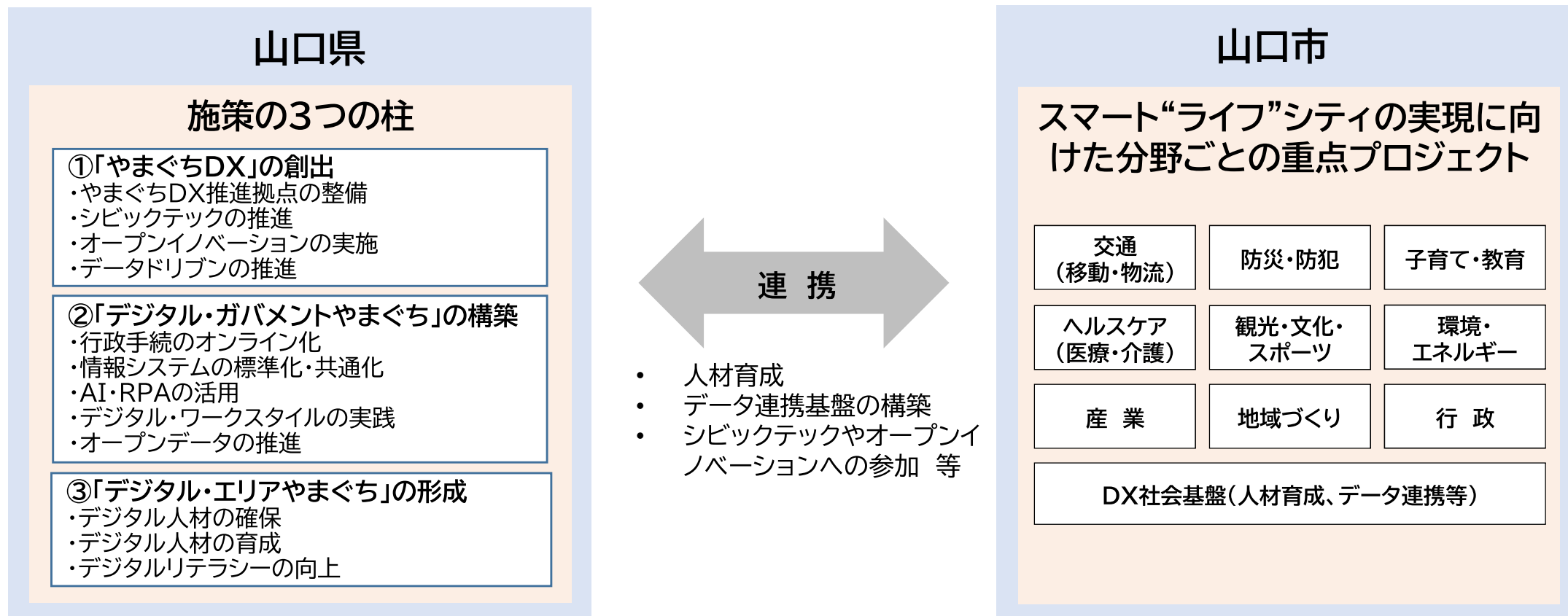
デジタル人材の育成や、仕事創出ネットワークの形成を図るため、産業交流拠点施設(KDDI維新ホール)内に「G's ACADEMY (ジーズアカデミー)」が10月9日に開講しました。



③山口県と連携したDXの推進

山口県においては、県内におけるデジタル化の推進に向け、①「やまぐちDX」の創出、②「デジタル・ガバメントやまぐち」の構築、③「デジタル・エリアやまぐち」を施策の3つの柱に位置付け、取組を進められています。

こうした中、現在、NTT西日本山口支店と連携のもと、今秋に「やまぐちDX推進拠点」をニューメディアプラザ山口(NPY)に設置されるとともに、官民が共同で利用できる「山口県データプラットフォーム」や「Y-Cloud」の構築を進められています。本市においてもこうした県と連携するかたちでデジタル化・DXを推進します。



④スーパーシティ国家戦略特別区域の指定に向けた進捗状況

令和3年4月16日に阿東地域地福地区を対象として、スーパーシティ国家戦略特別区域指定に関する提案書を提出しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により、選定スケジュールに遅れが生じているところです。

こうした中、令和3年8月に、第1回スーパーシティ型国家戦略特別区域の区域指定に関する専門調査会が開催され、提案内容や今後の進め方等について議論された結果、全ての提案団体に対し、規制改革などについて再提案を求められているところです。

(スーパーシティ国家戦略特別区域の指定に関する提案書は、「参考3」参照。)

「スーパーシティ」構想の概要



住民が参画し、住民目線で、2030年頃に実現される未来社会を先行実現することを目指す。

【ポイント】

- ① **生活全般にまたがる複数分野の先端的サービスの提供**
AIやビッグデータなど先端技術を活用し、行政手続、移動、医療、教育など幅広い分野で利便性を向上。
- ② **複数分野間でのデータ連携**
複数分野の先端的サービス実現のため、「データ連携基盤」を通じて、様々なデータを連携・共有。
- ③ **大胆な規制改革**
先端的サービスを実現するための規制改革を同時・一体的・包括的に推進。

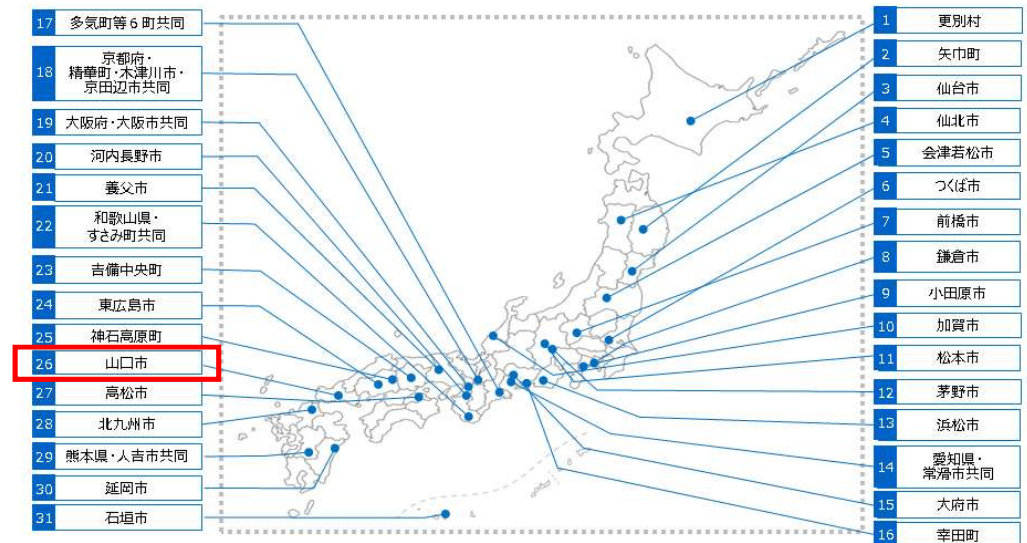


(*1) API : Application Programming Interface 異なるソフト同士でデータや指令をやりとりするときの接続仕様

スーパーシティの応募自治体



31の地方公共団体からスーパーシティの提案 ※複数団体による提案の場合は、1団体とカウント。



(4)重点プロジェクト

【プロジェクト案一覧】

プロジェクト No	プロジェクト名	主な分野	ページ
1	最適な移動を実現するまちプロジェクト	交通(移動・物流)	P29～P31
2	逃げ遅れ“0”プロジェクト	防災・防犯	P32～P34
3	親が元気に活躍するまちプロジェクト	子育て	P35～P38
4	生涯学び・活躍プロジェクト	教育	P39～P41
5	豊かな学びをはぐくむプロジェクト	教育	P42～P43
6	健康いきいきプロジェクト	ヘルスケア (医療・介護)	P44～P47
7	おいでませ山口・観光地域づくりプロジェクト	観光	P48～P50
8	地域産業・経済活性化プロジェクト	産業	P51～P53
9	地域脱炭素推進プロジェクト	環境・エネルギー	P54～P56
10	スマート“ライフ”シティを支える拠点づくりプロジェクト	地域づくり	P57～P59
11	行かなくてもいい市役所プロジェクト	行政	P60～P62
12	スマート“ライフ”シティを支える人材育成プロジェクト	DX社会基盤	P63～P64
13	新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト	DX社会基盤	P65～P67
参考	山口モデルスーパーシティ構築プロジェクト		P68

重点プロジェクト1 最適な移動を実現するまちプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

高齢社会の進展に伴う高齢者等の移動手段の確保を始め、過度のマイカー依存による公共交通利用者の減少や、その公共交通を担うバスやタクシー等の運転手不足などの課題を抱える中、本市では、持続可能な公共交通の構築や、日常生活における移動手段の確保や利便性の向上等に向けて、路線バスの維持・確保はもとより、高齢者の外出支援としてのグループタクシー利用促進などの取組を行ってきたところです。

現在、バス利用者が正確な運行状況を把握できるバスロケーションシステムや交通系ICカードの導入などのデジタル化により、快適に利用できる取組を進めており、こうした取組に加え、AI等の新たな技術を活用して、市民や観光客の移動手段の確保に向けた新たな交通サービスの構築や交流を促進する多様な移動サービスの提供に取り組めます。

こうしたプロジェクトの展開を通じて、あらゆる市民や観光客に最適な移動手段を確保し、誰もが安心して快適に移動できるまちの実現を目指します。

【KPI(重要業績評価指標)】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
市内での車の移動が円滑であると思う市民の割合	79.7%	76.8%	78.0%
公共交通機関の利便性に満足している市民の割合	54.1%	55.6%	57.5%
日常生活において必要なサービスや移動手段に不便していないと思う市民の割合	59.8%	64.6%	67.0%

【活動指標】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
交通系ICカードの利用率			
シェアサイクルの利用件数			
指標については、最終案において最新の数値を記載する予定です。			

KPIや活動指標の項目は、毎年度、見直しや追加を行う。また、数値については、最終案において最新の数値に更新。

重点プロジェクト1 最適な移動を実現するまちプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(1)市民生活を支える新たな交通サービスの構築

①公共交通利用者の利便性向上に向けたデジタル化の促進

- 公共交通利用者の利便性向上に向けた、バスロケーションシステムの利用促進や交通系ICカードの導入促進、総合時刻表のデジタル化。
- デジタル化によって蓄積された運行データや乗降データ、位置情報等のデータを活用した、利用ニーズに応じた運行計画の策定や新たなサービス創出に向けた交通事業者との連携。

②グループタクシーにおける効率的な乗合の仕組みづくり

- 高齢者の外出促進や移動の負担軽減等に向けた、デジタル技術を活用したグループタクシーの利用者の効率的なマッチングを可能とする仕組みづくり。
- マッチングの仕組みの導入に合わせて、地域と連携した高齢者に対するスマホの使い方やグループタクシーの利用促進などの講座の開催。

③生活に密着した乗合タクシーの導入の仕組みづくり

- タクシー事業者と連携した、通勤、通学等に利用できる乗合タクシーの仕組みづくり。
- 乗合タクシーの導入に合わせて、乗車前に運賃とルートが確定する『事前確定運賃』制度などの導入支援。



重点プロジェクト1 移動がスムーズなまちプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・スポーツ	環境・エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

④救援事業配送サービスの構築

- 交通事業者や商業施設等と連携した、買い物支援(eコマース、配送サービス等)の仕組みづくり。

⑤自動運転車の導入に向けた実証

- 既存の公共交通を補完する手段の一つとしての市内での自動運転の導入に向けた実証。

(2)観光周遊を誘引する多様な移動サービスの提供

①新たなモビリティサービス事業の促進

- 移動手段と多様なサービスを組み合わせた新たなモビリティサービスの構築に向けた、山口県、関係事業者等と連携による、やまぐちMaaS用Webアプリの活用促進。
- 新山口駅と山口都市核を結ぶ乗合タクシーの実証、小型モビリティの貸出など、新たなモビリティサービスの導入に向けた事業の促進。



ぶらやまトップ画面



小型モビリティ

②シェアサイクル事業の充実

- サイクルステーションの拡大、電動自転車の導入や決済方法の多様化など市民のニーズを踏まえ、スマートフォンで利用可能なシェアサイクル事業の充実。



サイクルステーション



スマホでシェアサイクルの鍵の開錠が可能

③スマート空港タクシー(湯田温泉⇄山口宇部空港乗合タクシー)事業の充実

- アプリで簡単に予約ができ、お得に利用できる湯田温泉周辺と山口宇部空港を結ぶ乗合タクシー事業の充実。

重点プロジェクト2 逃げ遅れ“0”プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産 業	地域づくり	行 政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

近年の地震・津波、台風やゲリラ豪雨等の激甚化する災害への対応を始め、高齢者等の避難行動要支援者などへの避難支援体制の構築や、防災情報等の迅速かつ的確な発信などの課題がある中、本市では、山口市防災ガイドブック等を活用した防災意識の向上や、自主防災組織への支援やリーダー育成などの地域防災力の強化、雨水貯留施設等の設置による総合浸水対策、デジタル防災行政無線の整備等による防災情報の発信に向けた取組など、防災体制の強化を図ってきました。

こうした取組に加え、防災に関する情報のデータ化を進め、こうしたデータを最大限に活用し、平常時に、市民に分かりやすく災害に備えた防災情報の提供を図るとともに、災害時には、迅速かつ的確な避難情報の発信や避難支援が行える体制を構築します。

こうしたプロジェクトの展開を通じて、誰一人取り残さない防災体制を構築し、逃げ遅れ“0”のまちを目指します。

【KPI(重要業績評価指標)】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
災害への備えをしている市民の割合	42.3%	33.7%	
災害の面で安全に暮らしていると感じている市民の割合	62.1%	57.0%	60.0%
治安がよく、安心して住めると思う市民の割合	95.7%	維持	

【活動指標】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
山口市公式LINEアカウントの登録者のうち「防災分野」の受信設定者数			
データ化した避難マイプラン作成数	指標については、最終案において最新の数値を記載する予定です。		
防災分野のオープンデータの掲載数			

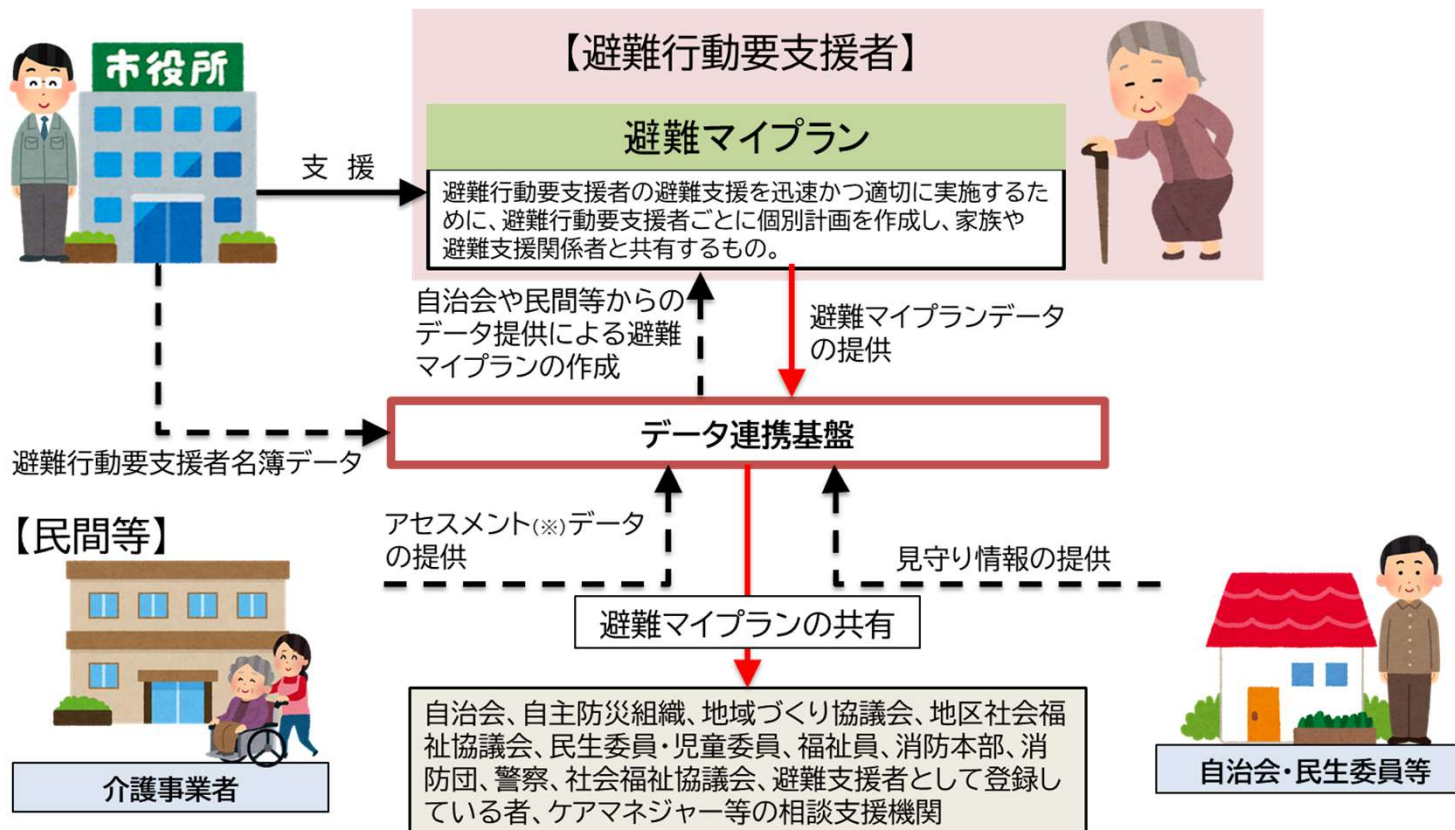
KPIや活動指標の項目は、毎年度、見直しや追加を行う。また、数値については、最終案において最新の数値に更新。

重点プロジェクト2 逃げ遅れ“0”プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(1)データ連携による避難マイプランの作成及び活用

- 平常時における見守りや、災害時における避難行動支援や安否確認などの防災対策等の強化に向けた、市や地域、民間事業者が有するデータの連携による避難マイプランの作成、及び地域団体や介護施設等との避難マイプランデータの共有を図るための仕組みづくり。



【避難マイプランの共有による効果】

平常時	災害時	避難時
<ul style="list-style-type: none"> 声かけ、見守り活動 防災訓練 救急隊対応 	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動の支援 安否確認 	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援情報の提供 介護サービス提供

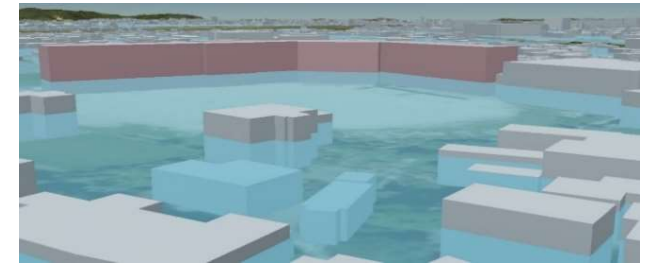
※アセスメント:利用者の情報収集及び課題分析し、利用者の個々に応じた課題やニーズを明らかにすること。

重点プロジェクト2 逃げ遅れ“0”プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・スポーツ	環境・エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(2)3D都市モデルを活用した防災リスクの見える化

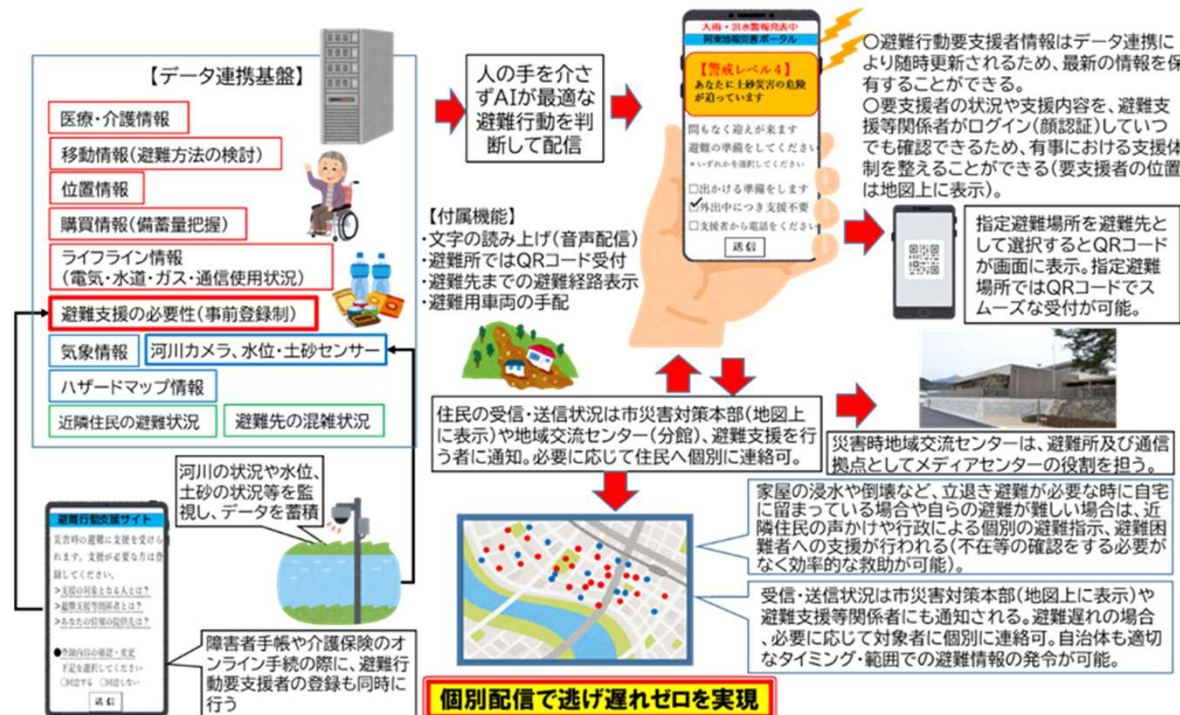
- 避難所やハザードマップ情報等のオープンデータを始め、気象情報や河川の水位の状況など、市や県、民間、市民が有する様々なデータを連携させた、国土交通省が進める3D都市モデルの活用による、災害リスクの可視化や防災計画の検討、バーチャル避難訓練等の実施。



(出典:国土交通省 PLATEAUプロジェクト HP)

(3)AI等のデジタル技術を活用した避難情報等の提供

- 市からの避難情報を始め、気象情報や河川の水位などの災害情報、住所等の基本情報、避難マイプランの情報、位置情報等の様々なデータを活用して、AIなどのデジタル技術を通じた、それぞれの個人に応じた避難情報等を提供するサービスの構築。



重点プロジェクト3 親が元気に活躍するまちプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産 業	地域づくり	行 政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

子育て世帯における各種手続等の負担軽減や、家庭と仕事の両立に向けたワークライフバランスの推進などの課題がある中、本市では、待機児童の解消に向けた保育園・放課後児童クラブの充実や子育て環境の整備等に取り組むとともに、中学校までの子ども医療費の無料化等、安定的な経済基盤の確保を図る取組や子育てのサポート体制の構築など、誰もが安心して、結婚、出産、子育てができる環境づくりに向けた取組を進めてきました。

こうした取組に加え、デジタル技術を活用して、子育て世帯の負担や不安の軽減に向けた取組を行うなど、安心して結婚、出産、子育てができる環境づくりを更に進めていきます。

こうしたプロジェクトの展開を通じて生み出された生活や時間のゆとりを活用し、家族での時間を楽しんだり、また、子育てを通じて得た経験や知識を仕事や地域活動等へ生かすなど、自分らしく、生きがいをもって、地域や社会で活躍できるまちの実現を目指します。

【KPI(重要業績評価指標)】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
子どもを安心して生み育てられる環境が整っていると思う、子どもを持つ親の割合	53.1%	67.0%	70.0%
働きやすく、生活とのバランスがとれたまちだと思う市民の割合	48.1%	52.0%	55.0%
ファミリー世代の転入超過	—	転入超過を維持	転入超過を維持

【活動指標】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
子育てアプリ「やまここ」の登録者数			
母子手帳アプリ「やまここ」を活用した子育てオンライン相談件数	指標については、最終案において最新の数値を記載する予定です。		
子育て分野に関する電子申請件数			

KPIや活動指標の項目は、毎年度、見直しや追加を行う。また、数値については、最終案において最新の数値に更新。

重点プロジェクト3 親が元気に活躍するまちプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・スポーツ	環境・エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(1)子育て世帯の負担軽減に向けた取組

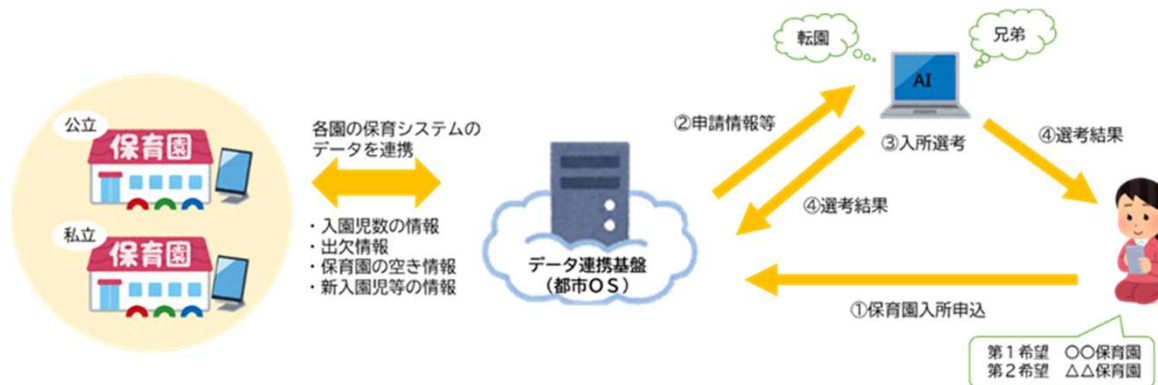
①保育システムの導入

- 保護者等の連絡機能、登降園管理機能、写真投稿機能等を有する保育システムの導入促進。



②入園手続きのオンライン化

- 保育園や放課後児童クラブ(学童保育)における入園手続きのオンライン化の推進。



③保育園や放課後児童クラブの空き状況などの可視化

- 保護者の利便性の向上に向けた、保育園や放課後児童クラブ等の空き状況などのオープンデータの可視化。

重点プロジェクト3 親が元気に活躍するまちプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(2)子育て世代の利便性向上に向けた子育てアプリ「やまここ」の機能拡充

- 子どもの予防接種の予約や、アンケート機能、講座の予約機能など、子育てアプリ「やまここ」の機能拡充。



(3)子育て支援の更なる充実等に向けたビッグデータ解析

- 蓄積された保育業務のデータや保育システム、子育てアプリ等の利用データ等を解析することによる、子育て支援の更なる充実や新たな保育サービス等の構築の推進。

重点プロジェクト3 親が元気に活躍するまちプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(4) デジタル技術を活用したファミリーサポート制度の更なる充実

- ICT技術を活用した、ファミリーサポートセンターへの会員登録、援助依頼等の電子化や、マッチングの仕組みの構築。



(5) 子育て中の親同士のコミュニティづくりや支え合いの仕組みの構築

- 民間事業者等と連携した、市内の同じ悩みを持つ子育て世代のポータルサイト等でのつながりや、子育て用品のシェアや子どもの送迎支援など、当事者同士でゆるやかに支え合える仕組みの構築。

重点プロジェクト4 生涯学び・活躍プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産 業	地域づくり	行 政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

人生100年時代を見据えた人材育成や多様な働き方等が求められている中、本市では、地域交流センターにおける講座の実施や「やまぐち路傍塾」を活用した地域人材の活躍の場づくりなど、地域における身近な学びの充実とともに、大学や企業等と連携した公開講座の開催や移動図書館サービスの提供など、多様なニーズに対応できる学習機会の提供に向けた取組を進めてきました。

こうした取組に加え、デジタル技術を活用して、あらゆる世代の市民が、住んでいる地域に関わらず、身近な学びから山口情報芸術センター(YCAM)や大学等と連携した山口の特色を生かした多様な学習機会の提供や、学んだことや知識を生かせる環境づくりを進めます。

こうしたプロジェクトの展開を通じて、生涯を通じていつでもどこでも学ぶことができ、また、学んだことや、自らがもっている知識やスキルを生かし、生涯に渡って活躍できるまちの実現を目指します。

【KPI(重要業績評価指標)】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
65歳以上で仕事や余暇の時間に生きがいを持って過ごしている人の割合	56.7%	74.6%	77.3%
生涯学習に取り組んでいる市民の割合	26.4%	28.2%	30.0%
生涯を通じ、学びの環境が整っていると感じる市民の割合	68.3%	68%	

【活動指標】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
デジタル活用支援講座やオンライン生涯学習講座等の実施件数	指標については、最終案において最新の数値を記載する予定です。		

KPIや活動指標の項目は、毎年度、見直しや追加を行う。また、数値については、最終案において最新の数値に更新。

重点プロジェクト4 生涯学び・活躍プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

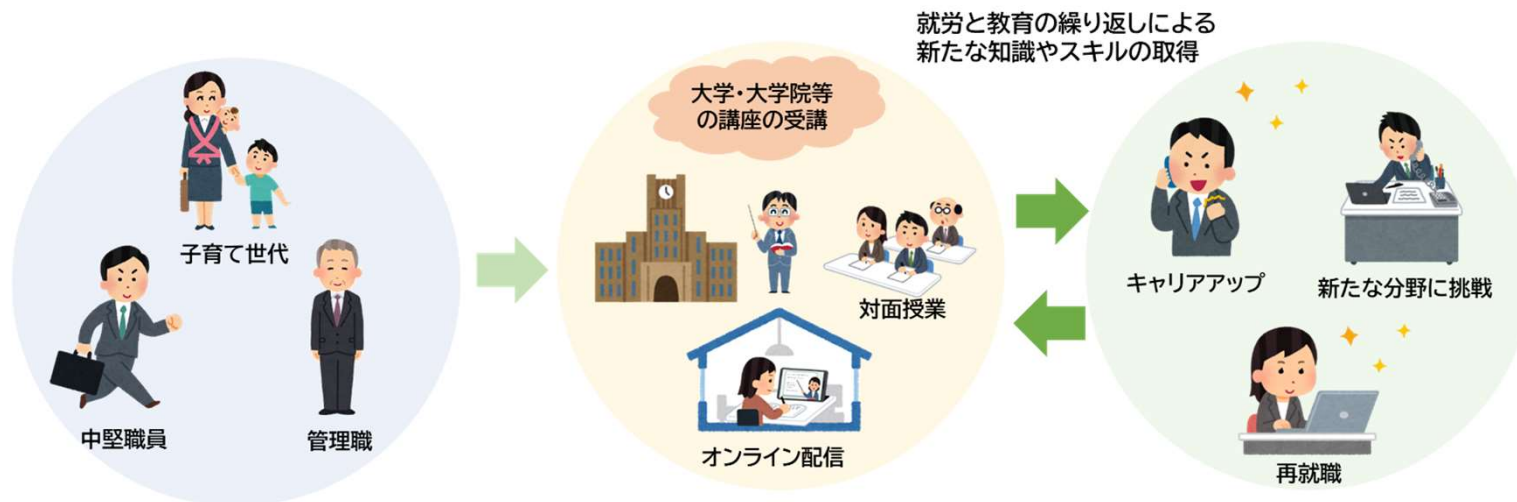
(1)幅広い世代の人の学びや活躍に向けたやまぐち路傍塾の更なる充実

- ICT技術を活用した、やまぐち路傍塾の申込や更新手続きの電子化、マッチングの仕組み等の構築。
- オンラインに対応した講座を導入するなど、子育て世代やアクティブシニア世代などの幅広い世代の人の学ぶ場、また、活躍の場となるような仕組みの構築。



(2)リカレント教育の充実～学びがあふれたまち山口～

- 市内の大学や高等教育機関等と連携し、山口市民であればいつでも学び直しを可能とするリカレント教育の充実



重点プロジェクト4 生涯学び・活躍プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産 業	地域づくり	行 政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(3) デジタル技術を活用した、日本一 本を読む環境づくりに向けた取組

① 図書館利用者カードのデジタル化

- 図書館利用者カードのバーコードをスマートフォンの画面上に表示させるなど、利用者カードがなくてもスマホ1つで図書の貸出しを可能とするサービスの導入推進。



② 電子図書館サービスの導入

- 図書館に行かなくても、いつでもどこでも、パソコンやタブレット、スマホ等から電子書籍を借りて読むことができる「電子図書館」サービスの導入推進。



③ 図書館のリアルタイムな混雑状況の配信

- 利用者の利便性の向上や、安全安心な図書館の利用に向けた、図書館のリアルタイムな混雑状況の配信するサービスの導入推進。

重点プロジェクト5 豊かな学びをはぐくむプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

学校におけるデジタル化やICT教育への対応等が求められている中、本市では、小・中学校の児童生徒へ1人1台のパソコン配備、山口情報芸術センター(YCAM)や中央図書館を中心に、本市の芸術文化の創造や次世代を担う子供たちへの教育支援、コミュニティ・スクールを通じた地域と連携した学習活動などの取組を進めてきました。

こうした取組に加え、デジタル技術を活用して、子どもたち一人ひとりに寄り添った学習が可能となるよう更なる学習環境の整備を進めるとともに、学校以外でも、地域を始め、山口情報芸術センター(YCAM)や大学等の専門機関や民間事業者、様々な団体と連携して、次代を担う子どもを育む教育環境づくりを行っていきます。

こうしたプロジェクトの展開を通じて、子どもたちが自由な発想や多角的な視点で自らの学びを深めることのできるまちの実現を目指します。

【KPI(重要業績評価指標)】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
学校生活を楽しんでいる児童の割合	89.7%	91.4%	92.0%
学校生活を楽しんでいる生徒の割合	90.0%	91.4%	92.0%
地域において子どもが健全に育成されていると感じている市民の割合	45.4%	43.8%	45.0%

【活動指標】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
保護者との連絡手段がデジタル化された学校数			
山口情報芸術センター(YCAM)と連携して、小学校においてデジタル技術等を活用した社会教育プログラムを実施した件数	指標については、最終案において最新の数値を記載する予定です。		
大学や山口情報芸術センター(YCAM)等と連携して、地域交流センターにおいてデジタル技術等を活用した社会教育プログラムを実施した件数			

KPIや活動指標の項目は、毎年度、見直しや追加を行う。また、数値については、最終案において最新の数値に更新。

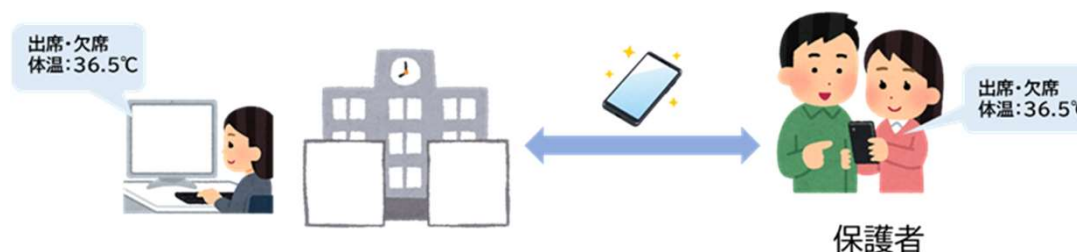
重点プロジェクト5 豊かな学びをはぐくむプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産 業	地域づくり	行 政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(1) 学校内での学びを充実させるための取組

① 小・中学校と保護者間の連絡手段のデジタル化の推進

- 小・中学校と保護者間の迅速な情報伝達や双方の負担軽減に向けた、ICT技術を活用した効率的な連絡手段の構築。



② ICTを活用した教育の推進

- 児童生徒1人に1台配備したパソコンや、指導者用デジタル教科書やAIドリル教材などを活用し、学習活動の更なる充実。
- Society5.0時代を生きる子どもたちを育むICT教育の推進。



③ オンライン参観日の導入

- ICT技術を活用したオンライン参観日の導入など、直接学校に行かなくても参観日に参加できる仕組みの構築。

(2) 学校外での学びを充実させるための取組

① 地域交流センターにおける社会教育プログラムの充実

- 地域を始め、山口情報芸術センター(YCAM)、大学等の専門機関、民間事業者等と連携して、オンライン等を活用した、先進的で、専門的な学びや、地域課題の解決に向けた学習機関を提供するなど、地域交流センターの社会教育プログラムの充実。

② やまぐち路傍塾の更なる充実による地域教育の推進【再掲】

重点プロジェクト6 健康いきいきプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

高齢社会の進展による一人暮らしの高齢者や要介護(要支援)認定者、認知症高齢者の増加や、高齢者を支える介護人材等の確保・育成など、地域福祉等を支える体制の構築を進めていく必要がある中、本市では、地域共生社会の実現に向け、高齢者が住み慣れた地域での生活が継続できるような地域包括ケアシステムの充実、障がい者が安心して自立した生活が送れるよう障がい者福祉施策の推進、地域の支え合いのもと複合的な課題解決に向けた包括的支援体制の構築などの取組を進めてきました。

こうした取組に加えて、デジタル化を通じて、自らの健康情報を一元的に管理でき、サービスの提供が必要な人と共有できるような仕組みの検討や、家族や地域、様々な主体により高齢者や障がい者等を支えあう体制を構築を図ります。

こうしたプロジェクトの展開を通じて、あらゆる地域で、あらゆる世代の市民が生涯にわたって元気に暮らすことができるまちの実現を目指します。

【KPI(重要業績評価指標)】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
医療体制が充実していると思う市民の割合	79.9%	82.0%	85.0%
介護サービスが充実していると思う高齢者の割合	43.8%	53.8%	54.1%
地域福祉活動で共助(相互扶助)ができていると思う市民の割合	33.5%	42.0%	45.0%
日頃から健康や介護予防のために行っていることがある市民の割合	57.0%	60%	

【活動指標】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
「やまぐち健幸アプリ」の登録者数	指標については、最終案において最新の数値を記載する予定です。		

KPIや活動指標の項目は、毎年度、見直しや追加を行う。また、数値については、最終案において最新の数値に更新。

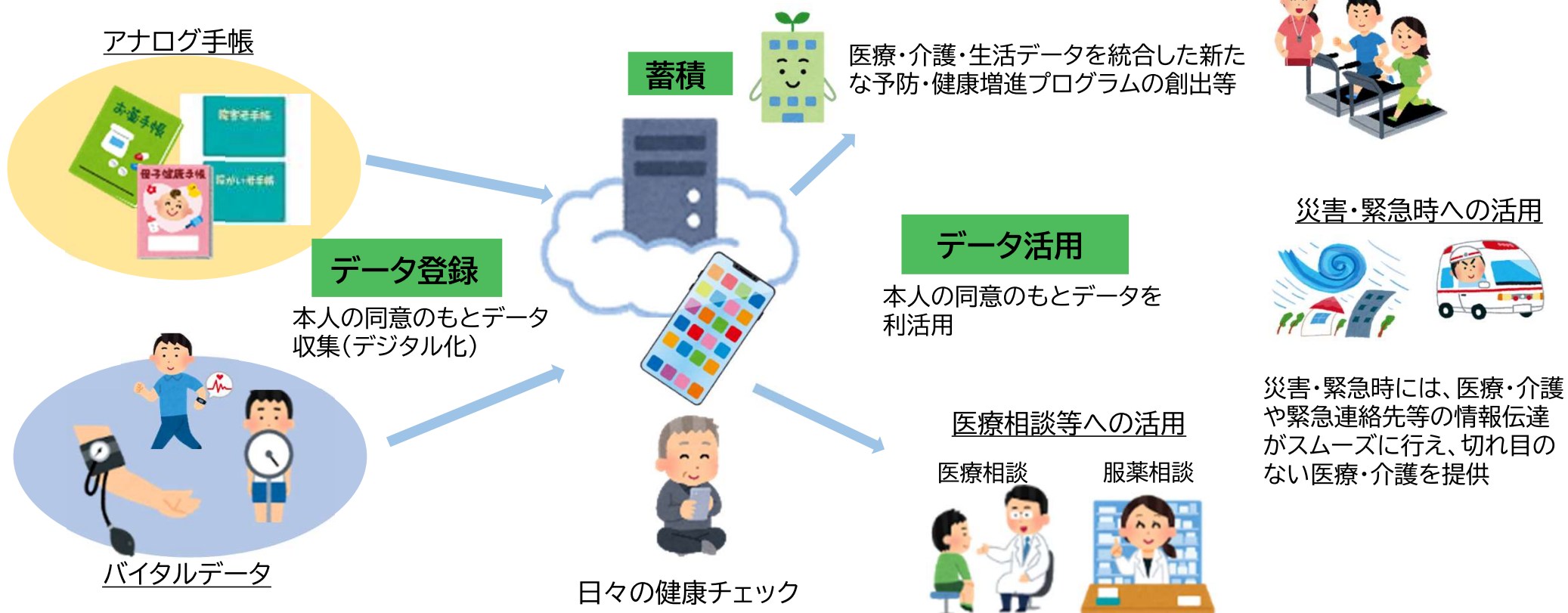
重点プロジェクト6 健康いきいきプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(1)個々に応じた健康づくり等に向けた健康データの一元化の検討

- 個々に応じた健康づくりの推進に向けた、お薬手帳や健康手帳、介護予防手帳等の情報の一元管理や、自らの血圧、脈拍数、歩数等の日々のバイタル情報等の健康情報の管理ができる(仮称)デジタル健康手帳の構築。
- 蓄積されたデータの、医療相談や災害時や救急搬送時等における対応、新たなヘルスケア産業の創出等へ活用促進。

【新たなヘルスケア産業の創出イメージ】

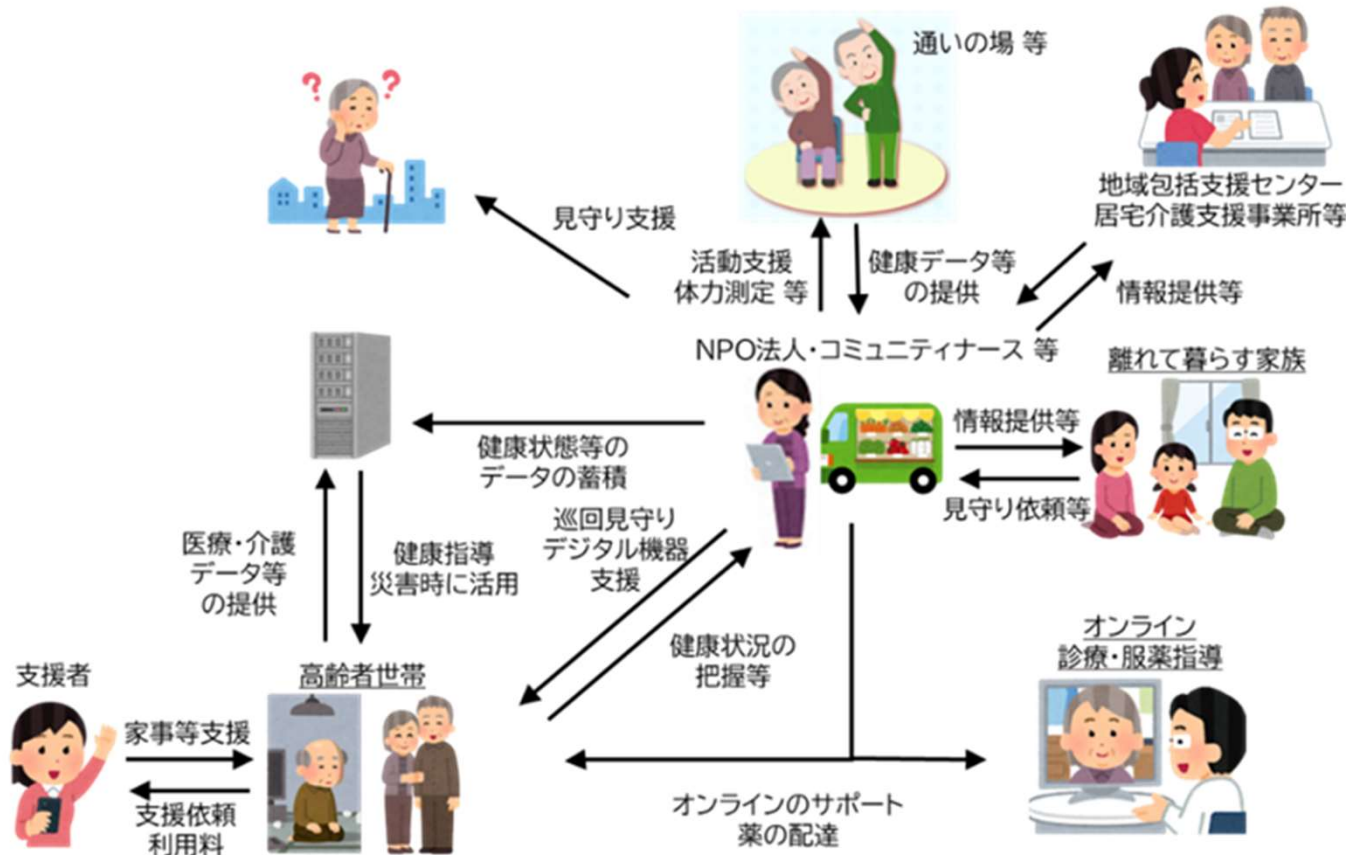


重点プロジェクト6 健康いきいきプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・スポーツ	環境・エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(2)中山間地域における高齢者支援体制の構築

- ・ 高齢化が著しく進展する中山間地域を中心にした、(仮称)デジタル健康手帳等のデジタル機器利用におけるサポートや、医療機関への受診が困難な人に対する地元医療機関等連携したオンライン診療やオンライン服薬指導等のサポート、生活環境(表情、行動、思考、趣味、生活、活動範囲、緊急連絡先等)の把握を含めた地域の高齢者等見守り等に向けた体制づくり。
- ・ 生活環境におけるデータと、(仮称)デジタル健康手帳のデータを連携させるなど、蓄積したデータの健康相談や災害時等、様々な機会での活用促進。

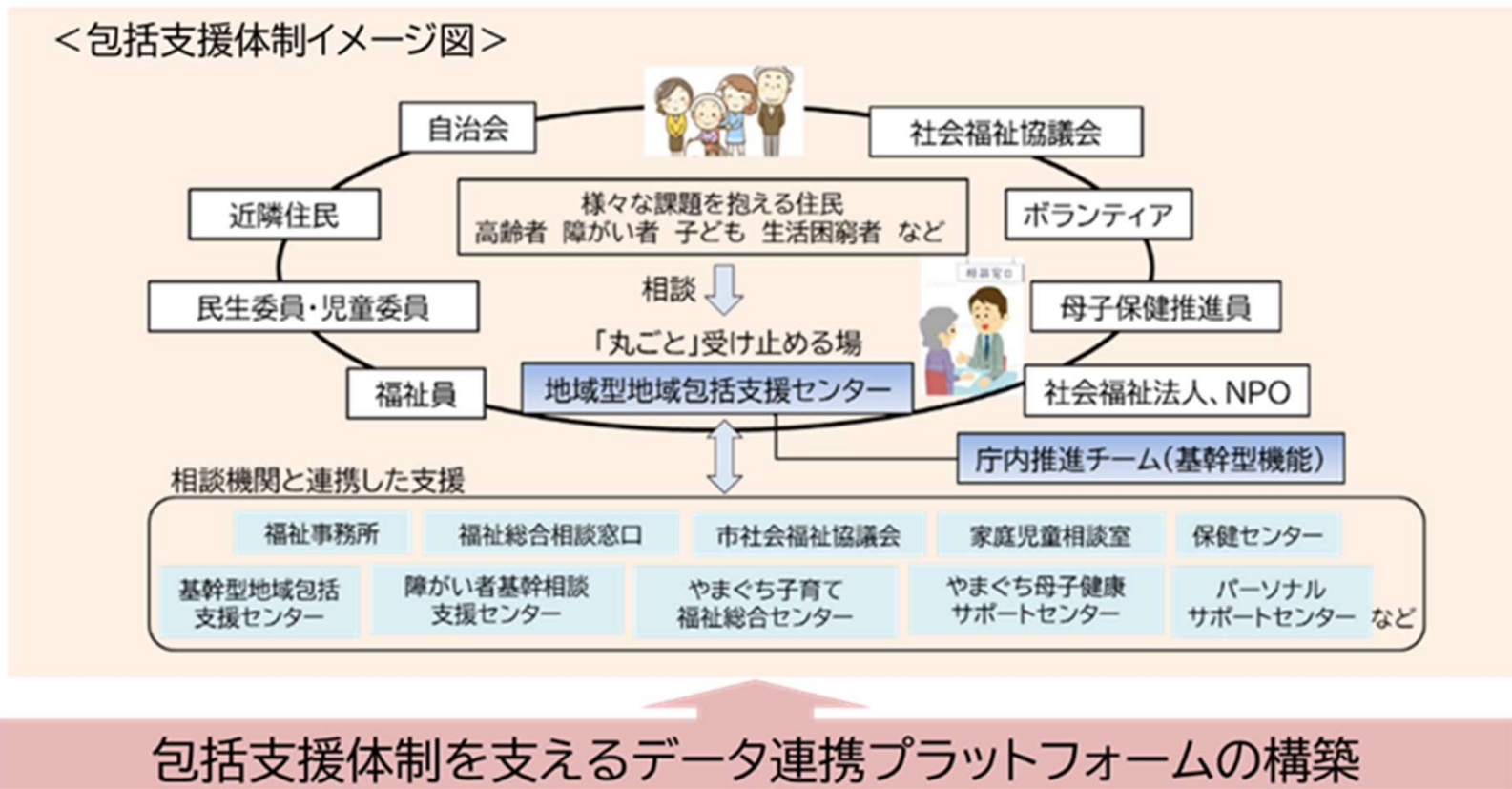


重点プロジェクト6 健康いきいきプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスクエア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(3)包括的支援体制の構築に向けた総合プラットフォームの構築

- ひきこもり、8050問題等の複合的な課題を解決できる包括的支援体制の構築に向けた、様々なステークホルダーとの情報共有や、それぞれが保有するデータの連携を可能とするための包括的支援総合プラットフォームの構築。



重点プロジェクト7 おいでませ山口・観光地域づくりプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・スポーツ	環境・エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

人口減少時代にあっても本市が持続的に発展していく必要がある中、本市では、交流人口の増加や地域経済の活性化を図るため、本市の有する多彩な観光資源の掘り起こしや磨き上げを始め、山口観光コンベンション協会や山口県観光連盟、県央連携都市圏域と連携した観光プロモーションの強化、湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」や新山口駅観光交流センター、ボランティアガイド等によるおもてなしの向上などの取組を進めてきました。

こうした取組に加えて、デジタル技術を活用して、観光客の趣味や関心等の多様なニーズに応じた効果的な観光情報の発信を始め、体験型の観光メニューの開発や、令和3年4月の山口市産業交流拠点施設(KDDI維新ホール)の併用開始により新たに生まれた人の流れの湯田温泉への誘客に向けた取組を進めると同時に、観光振興を通じて住民にとって誇りや愛着の持てる活力にあふれた地域経済の構築に向けた取組を進めていきます。

こうしたプロジェクトの展開を通じて、観光地域づくりの取組を進めることで、来訪者、生活者の双方にとって個性ある魅力的なまちの実現を目指します。

【KPI(重要業績評価指標)】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
観光客数	3,040,552人	6,000,000人	6,000,000人
山口市の文化・芸術・歴史に誇りや愛着を持っている市民の割合	62.2%	68.5%	70.0%
スポーツに触れる(観戦する・行う・体験する)機会に恵まれていると思う市民の割合	67.3%	76.2%	78.0%

【活動指標】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
MaaS用アプリ「ぶらやま」登録者数	指標については、最終案において最新の数値を記載する予定です。		
レノファ山口FC公式アプリの登録者数			

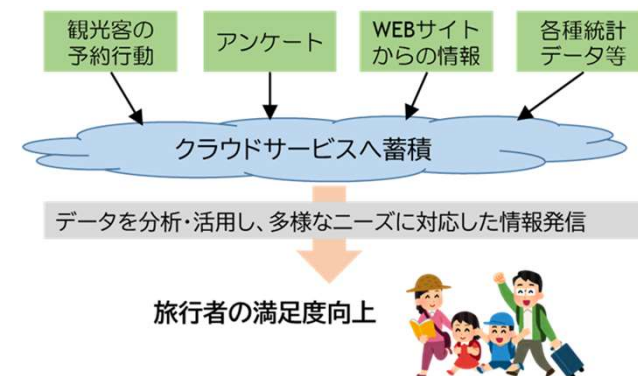
KPIや活動指標の項目は、毎年度、見直しや追加を行う。また、数値については、最終案において最新の数値に更新。

重点プロジェクト7 おいでませ山口・観光地域づくりプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(1)多様なニーズに対応した効果的な観光情報を発信、提供する仕組みづくり

- 観光客の予約行動やアンケート情報、Webサイトから得られるデータ等のビッグデータを分析し、観光客一人ひとりのニーズにあわせた、効果的な観光情報を発信、提供する仕組みづくり。
- SNS等の多様なメディアを活用した、観光情報の提供機能を強化。
- 潜在的な観光ニーズの掘り起こしや改善点の抽出等による新たな観光サービス等の検討に向けた、ビッグデータ解析やAI分析等の活用促進。
- 観光客等が安心して来訪できるよう、市内の主要観光地等の混雑状況をリアルタイムで配信するサービスの仕組みづくり。



(2)観光資源の魅力向上に向けた新たな観光コンテンツの提供

- 市内観光地のほか、山口情報芸術センター(YCAM)や県立美術館等の公共施設と連携した、5GやXR(VR:仮想現実・AR:拡張現実・MR:複合現実等)などのデジタル技術を活用による、誰もがいつでも山口の歴史や文化等を体験、触れることができる新たな観光・文化コンテンツの提供。



(3)デジタル観光ツアーアプリ等を活用した新たなサービスの提供

- 交流人口の拡大に向けた、観光客の多様なニーズに対応した観光ツアーの提案や、気軽に参加できるデジタルスタンプラリーの実施など、デジタル観光ツアーアプリ等の活用による新たなサービスを提供する仕組みづくり。
- 観光情報や位置情報等の多様なデータを活用した、新たな観光・文化サービスの提供。

(4)MaaS用アプリ「ぶらやま」実証実験【再掲】

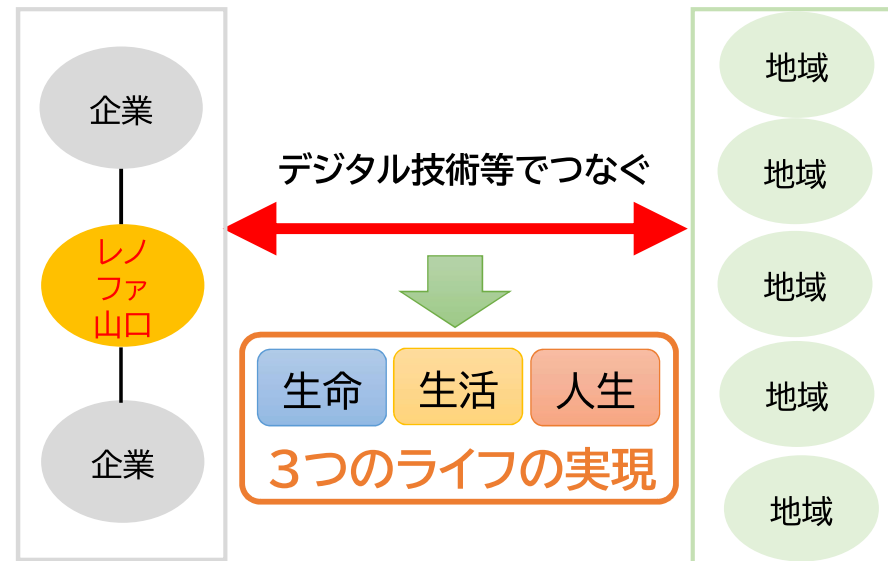
重点プロジェクト7 おいでませ山口・観光地域づくりプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(6)プロスポーツの資源を活用した21地域でのスマート“ライフ”シティの推進

市内21地域において、地域への愛着や生きがいを持って楽しく暮らし続けることができるまちとなるよう、レノファ山口のリソースを活用して、レノファ山口やその関連する企業など様々な主体と連携し、デジタル技術等を通じて各地域で持続的に多様な事業展開が可能となるような仕組みづくりを進めています。

現在、湯田地域、吉敷地域、徳地地域、平川地域、大歳地域、秋穂地域の6地域において、下記のような取組の実施に向けて協議を進めています。



具体的な取組例

(1)多世代交流や生きがいづくりの推進

- ・パブリックビューイングの実施
- ・オンラインによる選手との交流

(2)健康づくりの推進

- ・レノファ健康・元気体操の実施

(3)地域への愛着の醸成

- ・ご当地レノ丸の作成

(4)市民や企業、地域団体等と連携した、地域循環共生圏の構築

- ・地域や企業等と連携した地域課題解決に向けた取組を検討するセッションの実施
- ・レノファアプリの機能拡充



(株)レノファ山口提供



(株)レノファ山口提供

重点プロジェクト8 地域産業・経済活性化プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

人口減少や高齢化社会が進展する中、本市では、地域産業・経済の持続的な発展に向け、商工業・サービス業においては、市内中小企業の経営安定化に向けた支援を始め、起業・創業に向けた支援、ふるさと商品の販路拡大に向けた支援、プレミアム商品券や安心快適住まいの助成事業等の市内の消費喚起を促す取組などを行っています。

また、農林業においては、6次産業化の支援や労働力の省力化に向けた取組などの経営安定化に向けた支援や、新規就農者への支援等の担い手の育成、確保に向けた支援、有害鳥獣対策などの生産環境の整備に向けた取組等を行っています。

こうした取組に加え、デジタル技術を活用して、生産性や収益性の向上を図り経営基盤の安定化を図る取組を始め、起業家や新規就農者等の次代を担う若者等の育成、新たな産業の創出に向けた取組などを行っています。

こうしたプロジェクトの展開を通じて、地域内経済循環を促進し、市内事業者や生産者の経営基盤の強化を図るなどの取組を進め、持続可能な地域経済の発展を目指します。

【KPI(重要業績評価指標)】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
市内事業所数	—	維持	維持
市内事業所の従業者数	—	維持	維持
本市の耕地面積(ほ場整備面積)	4,209.1ha	4,319.6ha	4,484.5a
市内大学生等の県内企業就職内定率	34.6%	維持	維持

【活動指標】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
Pringアプリの登録者数			
Pringアプリの登録事業者数	指標については、最終案において最新の数値を記載する予定です。		
スマート農機の導入支援件数			

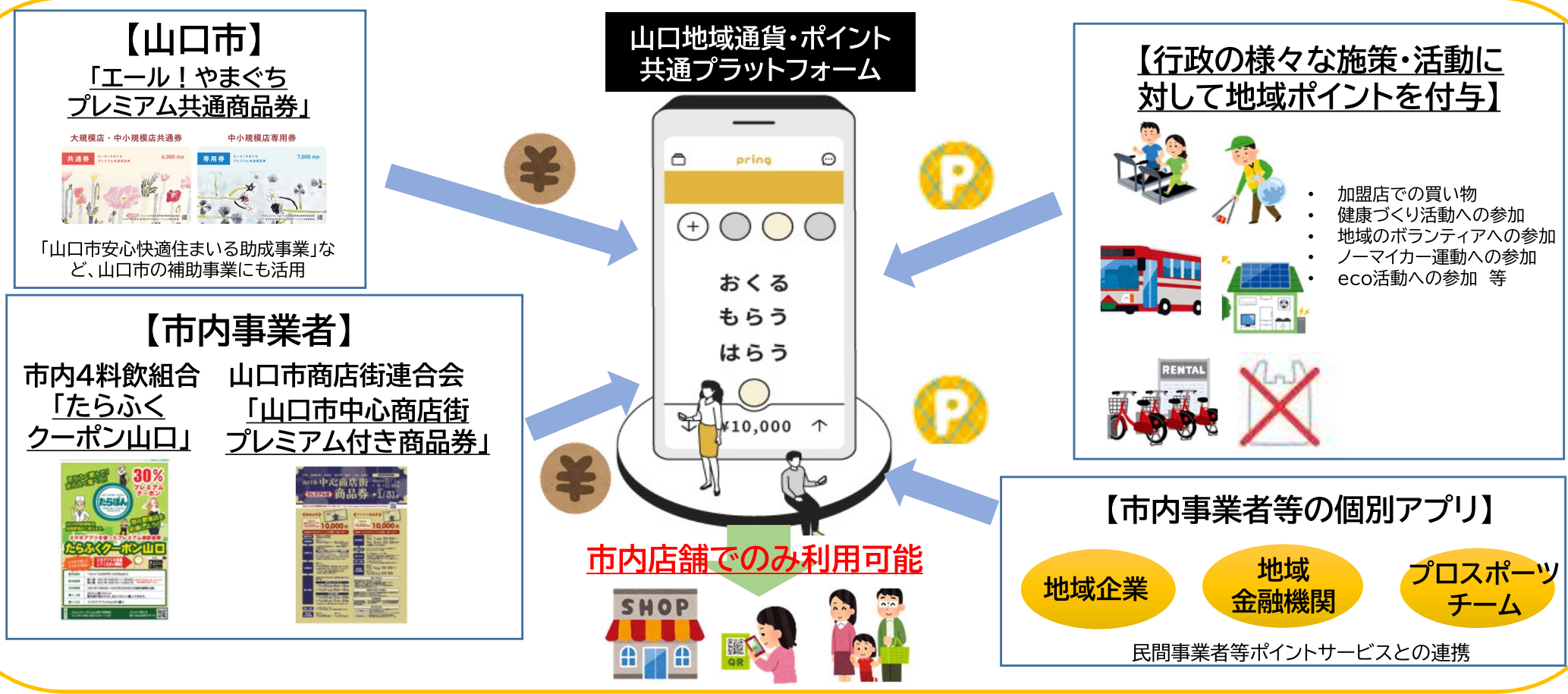
KPIや活動指標の項目は、毎年度、見直しや追加を行う。また、数値については、最終案において最新の数値に更新。

重点プロジェクト8 地域産業・経済活性化プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
医療・介護	観光・文化・スポーツ	環境・エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤人材育成、データ連携等		

(1) お金の地域内循環に向けた山口デジタル地域通貨の導入促進

- 株式会社pringのプラットフォームを活用した、山口デジタル地域通貨の導入促進。
- 民間事業者等のポイントサービス等との連携を可能とする仕組みづくり。



地域で生み出したお金を、地域で消費する地域内循環による地域経済の活性化

重点プロジェクト8 地域産業・経済活性化プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(2)持続可能な農業に向けたデジタル技術の活用促進

①スマート農機の導入促進

- 就農者の作業の効率化や負担軽減に向けたスマート農機等の導入促進に向けた支援。



【直進時自動操舵機能付トラクタ】



【リモコン式草刈機】



【ドローン(防除用)】



【高性能コンバイン】



【自動水管理システム】

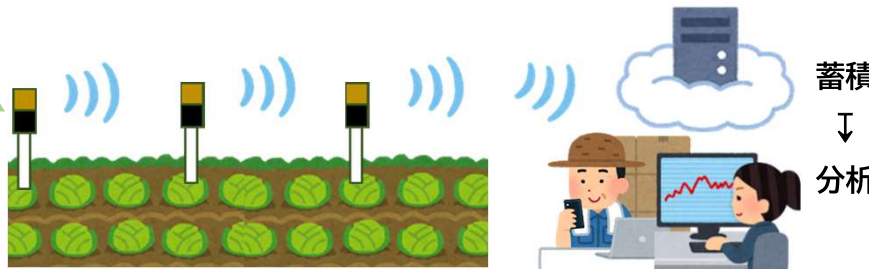
スマート農機の例 (「山口県スマート農業推進の手引き」より)

②山口大学等と連携したスマート農業の実証事業の推進

- 山口大学等との連携し、小規模農家の作業効率の向上等に向けた、ほ場の状態等をリアルタイムに検知できる安価な無線センサーネットワークデバイスを活用した実証事業の推進。

【無線センサーネットワークデバイスを活用した実証イメージ】

- 各種センサー
(温度や水分等の計測)
- 無線通信モジュール
- 電源モジュール
(電池や太陽光発電)



ほ場の状態をリアルタイムに把握し、新規就農者へ、熟練者としてのスキルが身に付くまでの支援技術となる。

重点プロジェクト9 地域脱炭素推進プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

国全体で地球温暖化に取り組む必要がある中、本市では、市民、事業者、民間団体と市(行政)が一体となって地球温暖化対策を推進するため、第二次山口市総合計画を始め、山口市環境基本計画及び山口市地球温暖化対策実行計画等に基づき、温室効果ガス排出量の削減や再生可能エネルギー等の利活用の推進などの取組を進めてきました。

こうした取組に加え、今後、国の地域脱炭素ロードマップ※の重点対策と呼応する形で市民の暮らしを支えるあらゆる分野における地域脱炭素の取組を進めていきます。

こうしたプロジェクトの展開を通じて、地域課題の解決し市民の暮らしの質の向上を図りながら、脱炭素社会を実現を目指すとともに、本市の地方創生にもつなげていきます。

※ 国においては、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、脱炭素社会の実現を目指すこととされている中、令和3年6月に公表された「地域脱炭素ロードマップ」では、今後5年間で政策を総動員し、全国で少なくとも100か所の先行地域で脱炭素に向け、2025年度までに実現の道筋をつけ、2030年度までに達成を目指すことが示された。

【KPI(重要業績評価指標)】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	74.1%	74.8%	76.0%
地球温暖化対策を意識して生活している市民の割合	81.0%	72.0%	80.0%
再生可能エネルギー等利活用設備を設置または設置を予定している市民の割合	16.8%	22.5%	25.0%

【活動指標】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
公共施設への再生可能エネルギー等利用設備導入件数	指標については、最終案において最新の数値を記載する予定です。		
シェアサイクルの利用件数【再掲】			

KPIや活動指標の項目は、毎年度、見直しや追加を行う。また、数値については、最終案において最新の数値に更新。

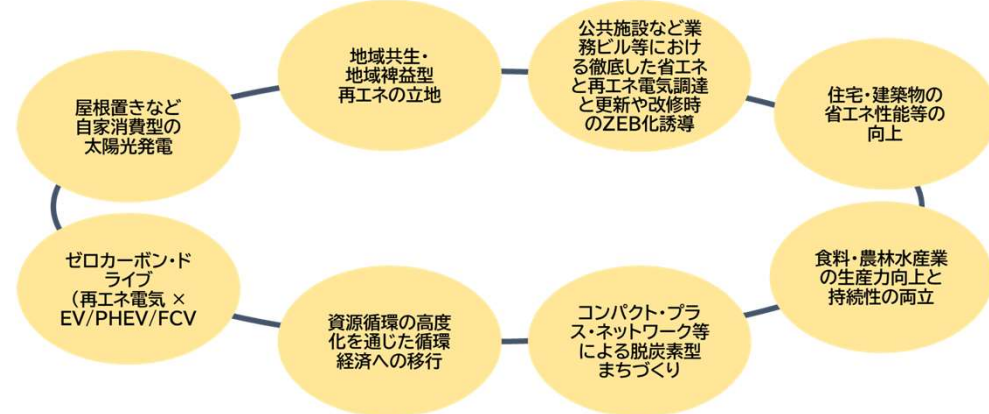
重点プロジェクト9 地域脱炭素推進プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスクエア (医療・介護)	観光・文化・スポーツ	環境・エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(1)脱炭素先行地域づくりの推進

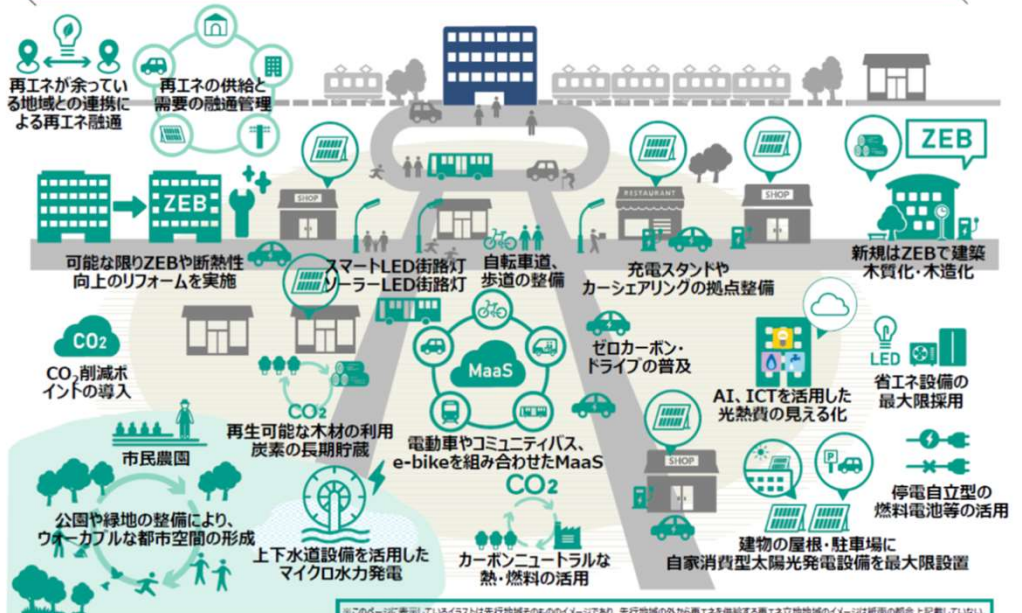
- 「地域脱炭素ロードマップ」において示されている脱炭素の基盤となる重点対策を踏まえた、地域脱炭素※につながる取組の推進。
- ※国においては、2030年度までに少なくとも全国で100か所の「脱炭素先行地域」をつくることを目指している。

【「地域脱炭素ロードマップ(R3.6月)」が示す脱炭素の基盤となる重点対策】



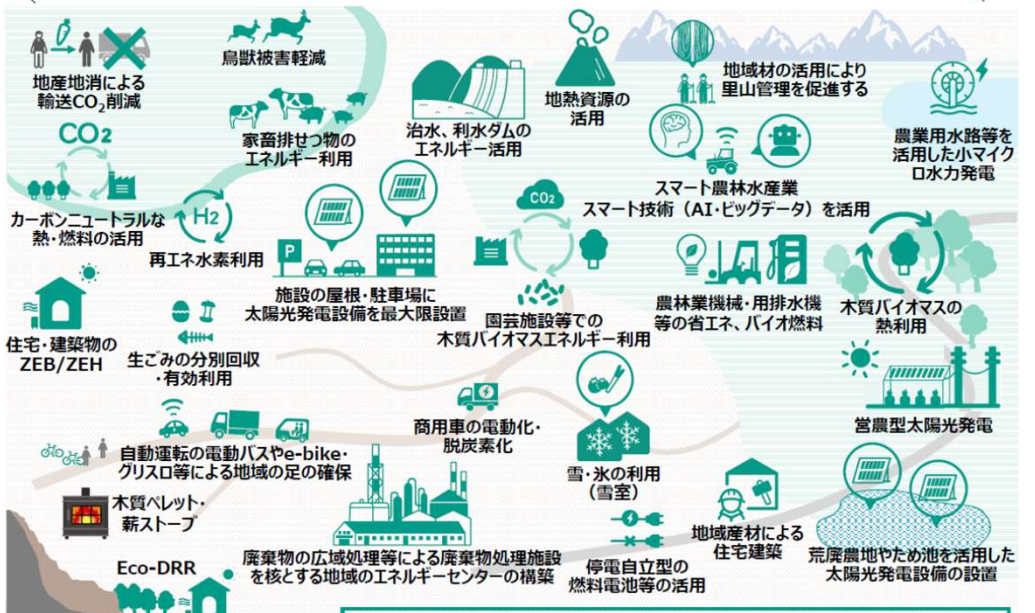
【参考】脱炭素先行地域のイメージ(地域脱炭素ロードマップ【概要】より抜粋)

C) 地方の小規模市町村等の中心市街地 (町村役場・商店街など)



※このページに表示しているイラストは先行地域でのイメージであり、先行地域の外から再エネを供給する再エネ立地地域のイメージは紙面上記載していません。

F) 農山村 (農地・森林を含む農林業が営まれるエリア)



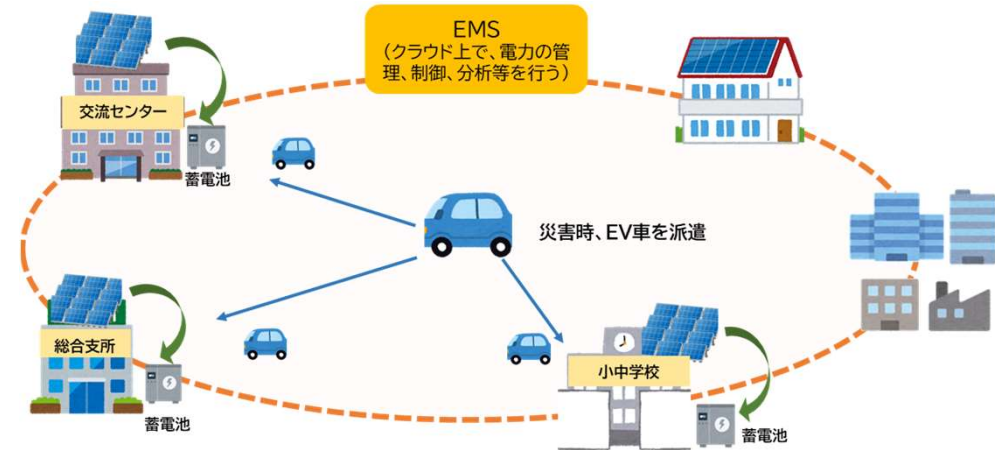
※このページに表示しているイラストは先行地域でのイメージであり、先行地域の外から再エネを供給する再エネ立地地域のイメージは紙面上記載していません。

重点プロジェクト9 地域脱炭素推進プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・スポーツ	環境・エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(2)スマートエネルギー事業の推進

- 災害による停電時においても、地域交流センター等の事務所機能と避難所機能の維持に向けた、太陽光パネル及び蓄電池の導入促進。
- 公用車への電気自動車の導入推進や、災害時における公共施設等への電気自動車の派遣促進。
- 電力の地域内循環に向けた、供給側と需要側のデータ連携による電力供給の最適化・効率化や、電力融通の促進。

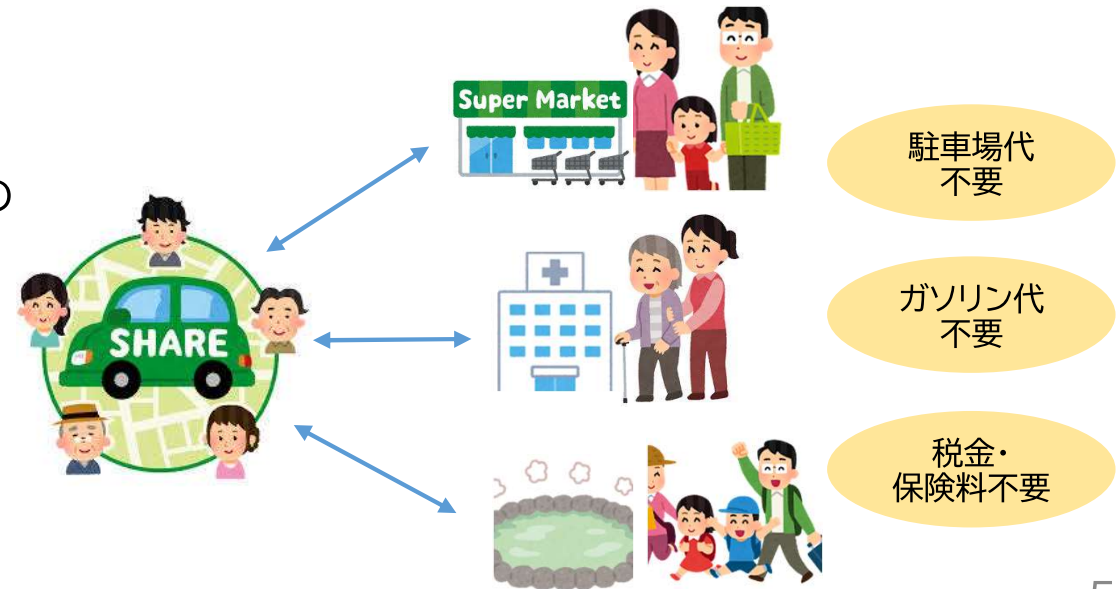


(3)市公共施設における電力融通の推進

- 清掃工場で発生する余剰電力を市公共施設に融通(託送)することによる、電力の地産地消や公共施設における電気料金の削減の推進。

(4)カーシェアリングの導入の促進

- 自動車から排出される二酸化炭素の削減や交通渋滞の緩和等に向けたカーシェアリングの導入促進。



重点プロジェクト10 スマート“ライフ”シティを支える拠点づくりプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

人口減少や超高齢化社会が進展する中、本市では、市内のあらゆる地域で安心して住み続けることができるコミュニティを実現するため、これまで地域づくりや地域生活を支える拠点である地域交流センター等の建替整備や機能強化などに取り組んできました。

今後、デジタル化が進展する中で、地域交流センターにおける多様な世代の居場所づくりやデジタル支援機能など、地域のデジタル推進拠点として、更なる地域交流センター等の機能強化を図る取組を推進します。

また、地域交流センター等の機能強化に加え、市内の公共施設や公共空間などにおいても、スマート“ライフ”シティを支える拠点づくりを進めていきます。

こうしたプロジェクトの展開を通じて、あらゆる地域で、誰一人取り残すことなく、安心して楽しく暮らし続けられまちを実現を目指します。

【KPI(重要業績評価指標)】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
住んでいる地域での良さや課題が地域住民の間で共有(認識)されていると思う割合	42.8%	47.6%	50.0%
公共施設が利用しやすいと思う市民の割合	61.7%	61.2%	63.0%
住まいの地域の住みよさ	—	90.0%	

【活動指標】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
市内における光ファイバの整備率			
公共施設における公衆無線LANの整備件数			
デジタル活用支援講座やオンライン生涯学習講座等の実施件数 【再掲】			
指標については、最終案において最新の数値を記載する予定です。			

KPIや活動指標の項目は、毎年度、見直しや追加を行う。また、数値については、最終案において最新の数値に更新。

重点プロジェクト10 スマート“ライフ”シティを支える拠点づくりプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(1)地域交流センターの機能の強化

①デジタルインフラの整備推進

- 地域のデジタル推進拠点に向けた、地域交流センター及び地域交流センター分館へ公衆無線LANの整備促進。

②防災拠点機能の強化

- 交流センター等への避難者が、親族等の安否確認や防災情報等の収集が可能となる、Wi-Fiスポットの提供。
- 避難所の混雑状況をリアルタイムで配信するサービスの提供。
- 災害による停電時においても、地域交流センターの事務所機能と避難所機能の維持に向けた、太陽光パネル及び蓄電池の導入促進。
- 災害時における、地域交流センター等への電気自動車の派遣促進。

③デジタル活用支援機能の強化

- スマホやパソコン、タブレット等のデジタル機器の操作に不慣れな方に向けた、地域のデジタルマイスター等と連携した、講座や相談会等の開催。
- スマホを持っていない方でも安心して参加できるデジタル活用支援講座やオンライン生涯学習講座等の開催。

④交流・生きがいづくり機能の強化

- 地域の人々と感動を共有できる場の提供に向けた、レノファ山口や各種スポーツ大会の試合等のパブリックビューイングの実施。
- 各地域交流センター等をネットワークでつないだeスポーツ大会等の実施に向けた仕組みづくり。

重点プロジェクト10 スマート“ライフ”シティを支える拠点づくりプロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

⑤窓口機能の強化

- 地域交流センターの窓口において、本庁職員と画面を介して専門的な相談等を行うことができるオンライン相談窓口サービスの導入推進。
- 証明発行手数料の支払いに加え、公共施設の使用料の支払いについても窓口キャッシュレス決済が可能となるサービスの提供。
- スマホ1つで、地域交流センターや学校開放施設等の予約から支払いまでが可能となるサービスの提供。
- 地域交流センター窓口での鍵の受取りの不要化に向けた、地域交流センターや学校開放施設等へスマートロック(デジタル認証)の導入推進。

⑥地域情報の発信・共有機能の強化

- 地域広報誌や町内会の回覧板等のデジタル化の促進。
- 地域交流センターにおける、地域情報や行政情報等がWi-Fi経由で取得可能となる仕組みづくり。



重点プロジェクト11 行かなくてもいい市役所プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産 業	地域づくり	行 政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

行政手続きの多くは直接窓口に行く必要があり、また、事務手数料等の支払いは現金払いをする必要がある中、本市では、市民の利便性の向上や行政側の業務の効率化を図るため、マイナンバーカードを利用した証明書のコンビニ交付サービスの導入を始め、住民異動届のタブレット手続化の導入、証明発行手数料を対象としたキャッシュレス決済の導入などスマート自治体の取組を推進してきました。

こうした中、市民サービスの更なる向上と業務の効率化等に向けて、業務システムの標準化の推進を図るとともに、デジタル社会の基盤となるマイナンバーカードを最大限活用し、行政手続・サービス提供の在り方を市民目線での変革を進めていきます。

こうしたプロジェクトの展開を通じて、いつでも、どこでも簡単に行政手続が可能となる、いわば、窓口に行かなくてもいい市役所の実現を目指します。

【KPI(重要業績評価指標)】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
行政サービスの事務手続きは、正確でスムーズだと思う市民の割合	78.0%	83.2%	85.0%
行政サービスに対する市民の満足度	81.5%	82%	
未来技術の活用件数	—	向上	

【活動指標】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
マイナンバーカードの交付率			
オンライン申請システム(やまぐち電子申請サービス)での申請件数			
オープンデータの公開件数	指標については、最終案において最新の数値を記載する予定です。		
山口市LINE公式アカウントの登録者数			
本庁と地域交流センターの窓口をつないだオンライン相談の件数			

KPIや活動指標の項目は、毎年度、見直しや追加を行う。また、数値については、最終案において最新の数値に更新。

重点プロジェクト11 行かなくてもいい市役所プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

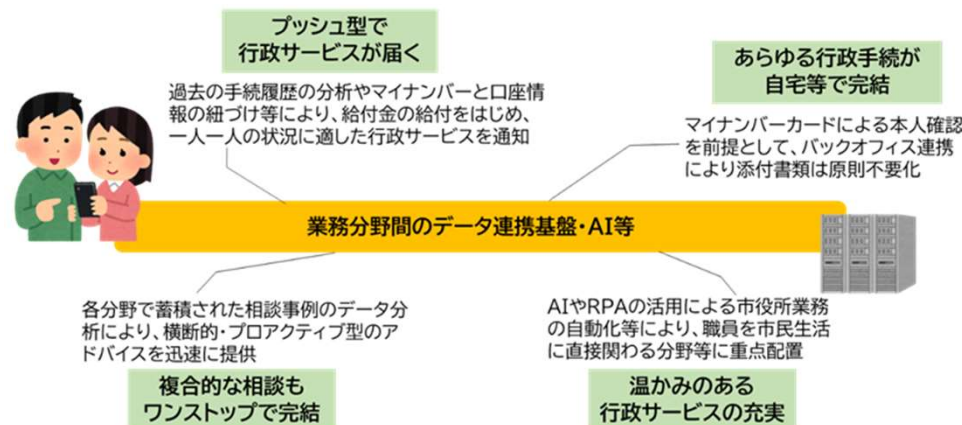
(1) 行政手続のオンライン化等の推進

① 業務システムの標準化の推進

- 行政手続きの簡素化やシステム間のデータ連携等による、行かなくてもいい市役所の実現に向けた、業務システムの標準化の推進。

② マイナンバーカードの普及・活用の促進

- マイナンバーカードの健康保険証利用や運転免許証のマイナンバーカードへの一本化、マイナンバーカード機能のスマートフォンへの搭載などの検討を踏まえた、マイナンバーカードの利便性や保有のメリット等を市民に周知・情報提供することによる、マイナンバーカードの普及促進。
- マイナンバーカードを活用したオンライン手続等の充実や、マイナンバーカードと連携したデジタルID等を活用したサービス提供の検討など、マイナンバーカードの利活用促進。



(2) オープンデータの利活用の促進

- 市民の利便性向上に向けた、国の推奨データや市民ニーズに即したオープンデータ数の更なる充実。
- オープンデータを地図上に表示する機能など、市民が利活用しやすいかたちでオープンデータを提供できる仕組みづくり。
- 地域課題の解決や新サービス・新産業等の創出、政策立案などに向けた、行政機関や民間事業者等によるオープンデータの利活用促進。



重点プロジェクト11 行かなくてもいい市役所プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産 業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(3) 山口市LINE公式アカウントの機能拡充

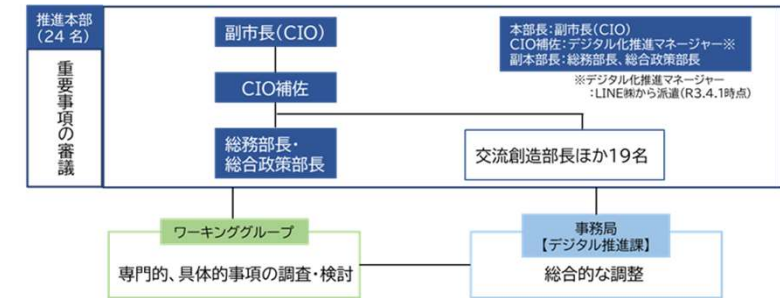
- AIの自動応答プログラムで24時間365日いつでも問合せができる対象分野の拡充。
- 子育て等に関する情報をはじめ、必要な人が必要な情報を最適なタイミングで受け取ることができるサービスの充実。



(4) デジタル・ガバメントの構築に向けた取組の推進

- 市民サービスの向上や業務効率化等に向けた、「山口市DX推進本部」を中心としたデジタル・ガバメントの推進。

【体制図】



(5) 業務効率化に向けた電子契約サービスの導入推進

- 市役所と事業者双方の負担軽減に向けた、契約事務における押印不要の電子契約サービスの導入推進。



(6) 消防通信指令業務の共同運用に向けた取組の推進

- 本市と萩市及び防府市の3市による通信指令業務の共同運用に向けた、運用体制やシステム等の構築。(3市の共同による消防指令センターの運用開始は、令和7年度を予定。)

(7) 新本庁舎へのICT導入に向けた実証事業の推進

- 市民の利便性向上や業務効率化等に向けた、マイナンバー等を活用した入退室管理や生体認証(顔・静脈)等によるスマートロックの導入、執務室におけるフリーアドレスの導入などの実証事業の推進。

重点プロジェクト12 スマート“ライフ”シティを支える人材育成プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

市内企業において、デジタル化を支えるIT人材等が不足してなどの課題がある中、本市では、民間事業者や大学等と連携を図り、市内企業の生産性の向上や経営基盤強化に向けたデジタル人材の育成に取り組んできました。

こうした取組を更に加速化させるため、山口市産業交流拠点施設(KDDI維新ホール)を始め、産業交流スペースMegriba、山口情報芸術センター、デジタルハリウッドSTUDIO山口、G'sACADEMY、山口県DX推進拠点、mirai365等を活用し、市内企業のデジタル・トランスフォーメーション(DX)の促進や地域課題の解決を担うデジタル人材やデータサイエンティストの育成に取り組むとともに、こうした人材の雇用の場や、地域での活躍の場、人材ネットワークの形成等に取り組んでいきます。

こうしたプロジェクトの展開を通じて、市内で育ったデジタル人材が市内で活躍し、更に次代を担う人材が持続的に生まれるまちを実現を目指します。

【KPI(重要業績評価指標)】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
生涯を通じ、学びの環境が整っていると感じる市民の割合【再掲】	68.3%	68%	
従業者数【再掲】	—	維持	維持

【活動指標】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
デジタル活用支援講座やオンライン生涯学習講座等の実施件数【再掲】			
G'sACADEMY(ジーズアカデミー)の卒業者数	指標については、最終案において最新の数値を記載する予定です。		
DX等をテーマにしたセミナーや講座の開催件数			

KPIや活動指標の項目は、毎年度、見直しや追加を行う。また、数値については、最終案において最新の数値に更新。

重点プロジェクト12 スマート“ライフ”シティを支える人材育成プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(1)21地域のスマートライフを支えるデジタル人材の育成

- デジタル・デバイドの解消に向け、地域交流センターを中心に、デジタル機器やサービスに不慣れな住民を支援する取組の推進。
- 地域において住民自身が自らの目線で日常の困りごとを、デジタル技術を活用して解決していける人材育成の推進。

(2)企業のDXを推進するデジタル人材の育成

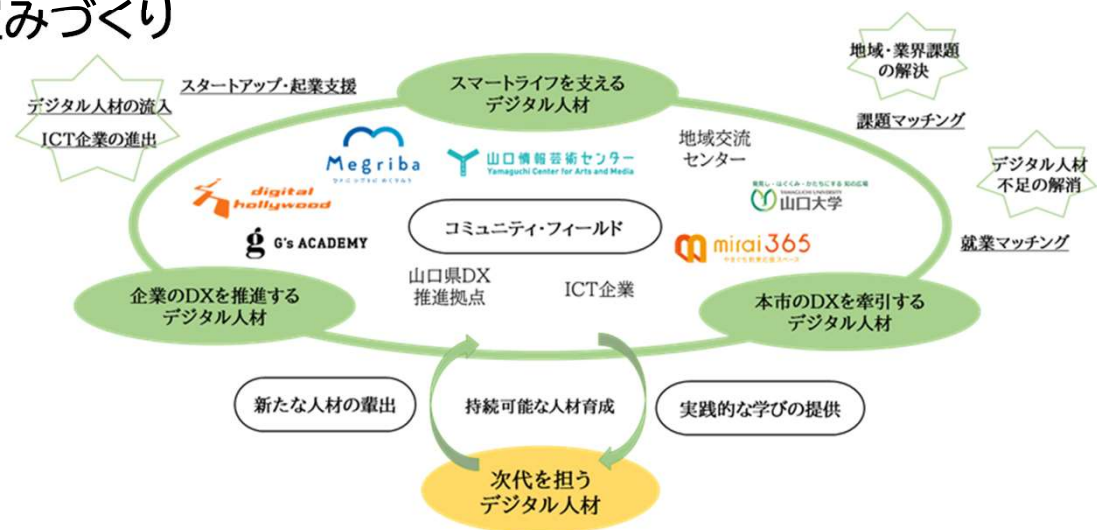
- 市内産業や企業の活性化に向け、市内企業のDXを牽引するデジタル人材育成の推進。

(3)本市のDXを牽引するデジタル技術者等の育成

- 民間事業者や大学等と連携により、従来の考え方の枠にとどまらず、チャレンジ精神を持って、多様な価値観を持つ人々と協働し、新しいアイデアを生み出し、地域課題解決や新しい価値創造に貢献できるデジタル人材育成の推進。

(4)継続的なデジタル人材の育成・輩出に向けた仕組みづくり

- 市内で育成されたデジタル人材が、地域や企業等で活躍できる環境づくりや、実践的な学びを提供する環境づくりなど、継続的にデジタル人材を育成・輩出していく仕組みづくり。
- 市内で育成された人材が活躍する環境づくり(デジタル人材の見える化)。



重点プロジェクト13 新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・スポーツ	環境・エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

市役所内における各種データ等については、これまで分野間においても個別に管理されており、一元化が進んでおらず、また、市役所内に限らず、国、他の自治体、民間事業者などが有するデータ等は個別に管理・保有していることから、データ利活用が限られています。そうした中、地域課題の解決や市民の豊かな暮らしを実現するため、分野や組織等の壁を越えた連携を可能とする相互運用性・拡張性、セキュリティが確保された都市OSの構築を進め、国、自治体、民間事業者などがバラバラに管理・保有するデータの連携を促進します。こうしたプロジェクトの展開を通じて蓄積されたあらゆる分野のビッグデータ等を活用し、新たな価値の創出や新たなサービスの提供を行い、地域課題の解決や新たな産業の創出を図っていきます。

【KPI(重要業績評価指標)】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
日常生活において必要なサービスや移動手段に不便していないと思う市民の割合【再掲】	59.8%	64.6%	67.0%
住まいの地域の住みやすさ【再掲】	—	90.0%	
未来技術の活用件数【再掲】	—	向上	

【活動指標】

指標名	実績値 令和2(2020)年度	中間目標値 令和6(2024)年度	最終目標値 令和9(2027)年度
「Y-Cloud」との連携件数			
オープンデータの公開件数【再掲】	指標については、最終案において最新の数値を記載する予定です。		
データ連携による新たなサービスの提供件数			

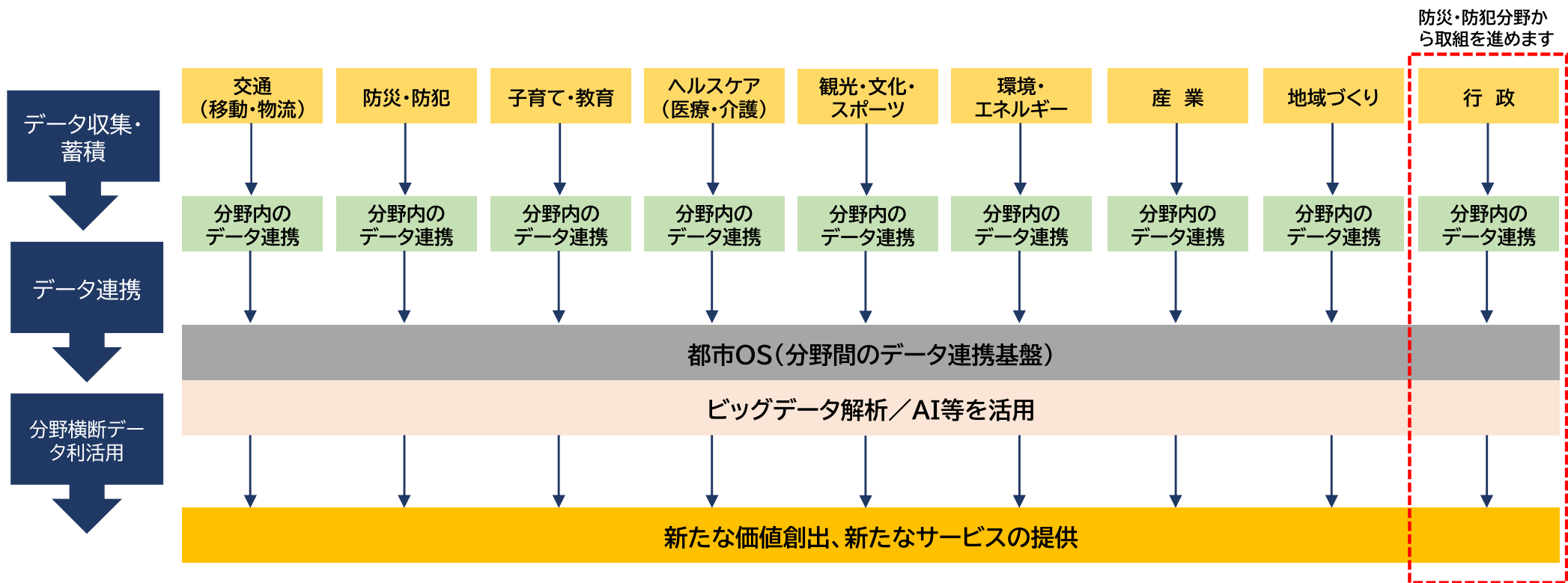
KPIや活動指標の項目は、毎年度、見直しや追加を行う。また、数値については、最終案において最新の数値に更新。

重点プロジェクト13 新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(1)データ連携基盤(都市OS)の構築に向けた取組の推進

- 交通や子育て・教育、医療・介護、防災など、生活全般にわたる複数分野での先端的サービスの社会実装を見据えた、データ連携基盤(都市OS)の研究・実証の推進。
- 山口県が整備を進めている「Yクラウド」との連携促進。
- データ連携基盤の構築後の市民の利便性等の更なる向上に向けた、蓄積されたデータ等のビッグデータ解析による、新たな価値の創出や新たなサービスの提供。



重点プロジェクト13 新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産 業	地域づくり	行 政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

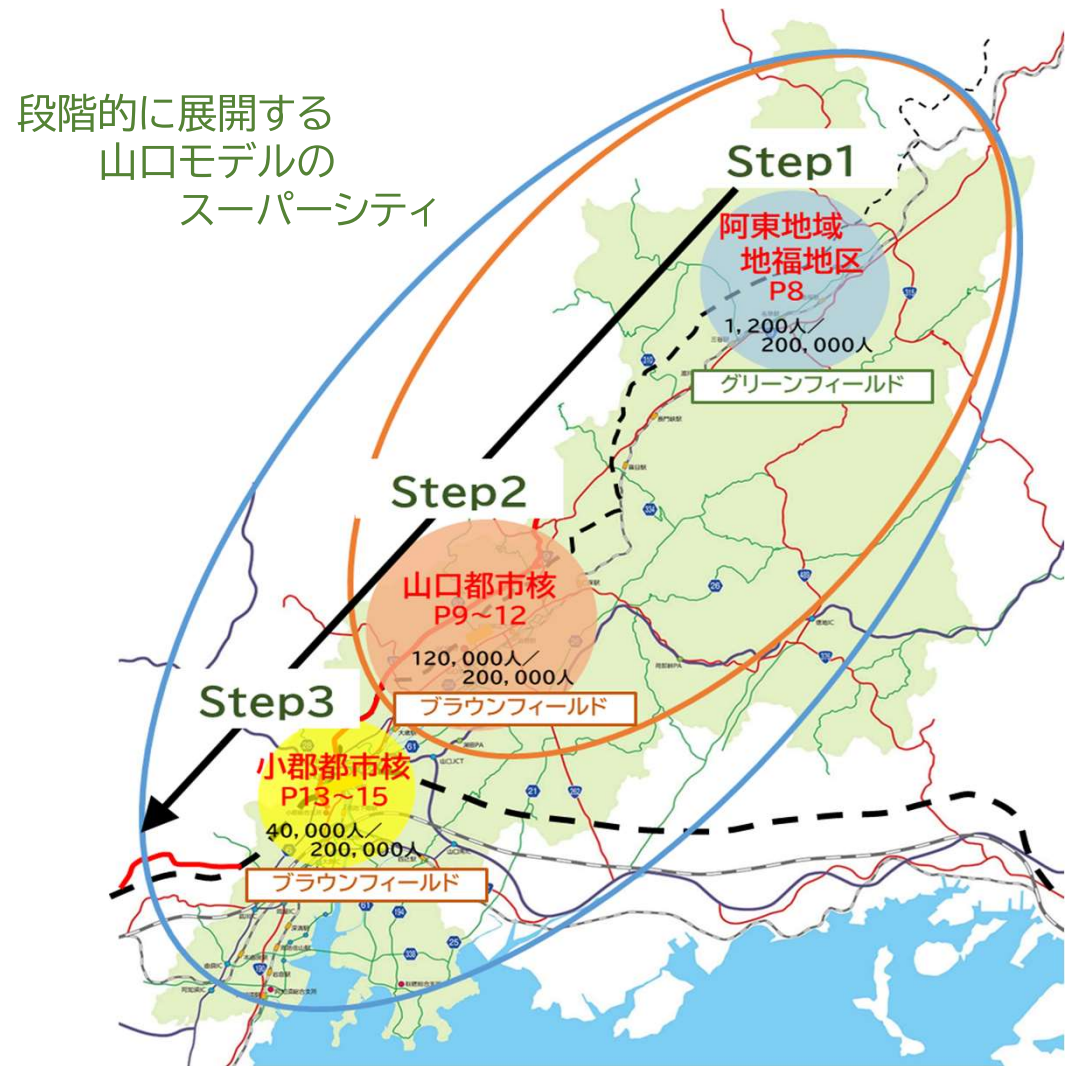
- (2)市民生活を支える新たな交通サービスの構築【再掲】
- (3)観光周遊を誘引する多様な移動サービスの提供【再掲】
- (4)データ連携による避難マイプランの作成及び活用【再掲】
- (5)AI等のデジタル技術を活用した避難情報等の提供【再掲】
- (6)子育て支援の更なる充実等に向けたビッグデータ解析【再掲】
- (7)個々に応じた健康づくり等に向けた健康データの一元化の検討【再掲】
- (8)包括的支援体制の構築に向けた総合プラットフォームの構築の検討【再掲】
- (9)多様なニーズに対応した効果的な観光情報を発信、提供する仕組みづくり【再掲】
- (10)お金の地域内循環に向けた山口デジタル地域通貨の導入【再掲】
- (11)脱炭素先行地域づくりの推進【再掲】
- (12)スマートエネルギー事業の推進【再掲】
- (13)行政手続きのオンライン化等の推進【再掲】
- (14)オープンデータの利活用の促進【再掲】

(参考) 山口モデルスーパーシティ構築プロジェクト

交通 (移動・物流)	防災・防犯	子育て・教育
ヘルスケア (医療・介護)	観光・文化・ スポーツ	環境・ エネルギー
産業	地域づくり	行政
DX社会基盤(人材育成、データ連携等)		

(1)人口20万人規模のスーパーシティの実現

住民主体の地域づくりが進んでいる人口約1100人の阿東地域地福地区というスモールケースで地域住民と一体となって、人口減少時代においても持続可能なスーパーシティモデルを構築し、山口都市核、更には、小郡都市核を含む全地域に横展開を図ることで、20万人規模のスーパーシティの実現を目指す。



【阿東地域地福地区】

面積	52.85km ²
人口	1,102人
世帯数	612世帯
高齢化率	58.5%

(令和3年4月1日現在)

【参考】ビジョン素案に対する御意見

8月20日に開催予定であった第7回推進協議会の延期に併せ、委員やオブザーバーの皆様にご当日配布予定の資料を送付したところ、ビジョン素案に対して御意見をいただきました。

御意見の内容やそれに対する回答、対応状況等については以下のとおりです。

「I 序論」に対する御意見

- 大項目「1 国の動向と時代の潮流」の中に、(1)～(7)までの項目があるが、項目や文章が羅列になっている。また、国の動向についての記載があるが、県の動向についての記載がない。「スマートシティ推進ビジョン」を作り上げるための背景として、時代の流れや国の動向、県の動向について、もう少し整理が必要である。(参考に、他の自治体と民間事業者が策定された計画(ビジョン)を提供いただいた)

→「I 序論」を「I ビジョン策定の背景」とした。

また、「1 国の動向と時代の潮流」と「2 本市の現状と課題」の2つの大項目を、「1 時代の潮流」、「2 国の動向」、「3 県の動向」、「4 本市の現状と課題」に整理し、併せて内容も修正した。

- 「本市における分野別の現状と課題の整理」について、なぜ、この9項目なのかを説明する必要がある。

→総合計画に掲げる「子育て・健康福祉」、「教育・文化・スポーツ」、「安全安心・環境・都市」、「産業・観光」、「協働・行政」の5つの政策グループを基本として、まちづくりアンケートによる市民ニーズにおいて重要度が高い、交通、防災、子育て・教育、医療・介護分野を始め、観光・文化・スポーツ、環境、産業、地域づくり、行政、そして、スマートシティの取組を進める上での基盤となるDX社会基盤の10つの分野を、本市のスマートシティ推進に向けた基本的な分野として整理している。

- スマートシティ推進は、「市民目線」が大事であるので、例えば市民アンケート等を実施して、市民が抱える課題や現状認識等を抽出してはどうか。

→本ビジョンの策定にあたり、市民アンケートというかたちではなく、生活者視点でのヒアリングとして、単身高齢者、高齢者世帯、ミドル世帯については、スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に関する提案書の検討の際に、NPO法人ほほえみの郷トイトイ事務局長 高田新一郎委員を始め、阿東地福地区と連携して課題の抽出等を行っている。

また、学生については、現在、エストニア共和国大使館特別補佐官 須原誠アドバイザーと連携して、大学生約100人からいただいた意見をもとに、課題の整理、分析を進めている。

さらに、子育て世帯については、山口情報芸術センターアーティスティックディレクター 会田大也委員及びNPO法人あっと代表理事 藤井智佳子委員と連携してワークショップを実施し、課題の抽出等を行っている。

「Ⅱ 推進ビジョン」に対する御意見

- 基本的な方向性として示されている、「100歳までいきいきと暮らし続けられるまちづくり」、「子育てがアドバンテージになるまちづくり」、「スマート“ライフ”シティを支えるまちづくり」については、スマートシティ推進に向けた全体の方向性ではなく、スマートシティ推進に向けて重点的に進める領域であり、それをもとに重点プロジェクトがあるように整理すべきである。その上で、KPIは重点プロジェクトごと(現時点で言えば、13のプロジェクト)に設定すべきである。
 - 「目指すまちの姿の実現に向けた基本的な方向性」は、「目指すまちの姿の実現に向けた重点領域」とし、「100歳までいきいきと暮らし続けられるまちづくり」、「子育てがアドバンテージになるまちづくり」、「スマート“ライフ”シティを支えるまちづくり」の、これら3つの重点領域をもとに、交通や防災・防犯、ヘルスケア(医療・介護)、子育て・教育等の暮らしを中心とした重点プロジェクトを位置けるように本文の記載と図を変更した。また、KPIについては、Ⅲ重点プロジェクトのプロジェクトごとに設定するように変更した。

「Ⅲ 重点プロジェクト」に対する御意見

- 重点プロジェクトをどのように進めていくのかを整理する必要がある。
 - Ⅲ重点プロジェクトに、「重点プロジェクトの実施体制」の項目を追加した。
- 序論で掲げられた本市における分野別の現状と課題が、重点プロジェクトと、どう関連しているかを整理する必要がある。
 - 現状と課題の分野と重点プロジェクトの分野を一致させるとともに、各重点プロジェクトごとに、リード文を追加し、関連性を整理した。

IV 今後のスケジュール

令和2年

9月28日	第1回推進協議会	本市の現状と課題の整理
11月26日	第2回推進協議会	各委員の話題提供(松野会長、中川委員、会田委員)
12月16日	第3回推進協議会	各委員の話題提供(濱田委員、大田委員、山本委員)

令和3年

1月14日	第4回推進協議会	各委員の話題提供(杉井委員、永久委員、鈴木委員、高田委員)
3月11日	第5回推進協議会	各委員の話題提供(田中委員、中島委員、兒玉委員、藤井委員)
4月23日	第6回推進協議会	スマートシティ推進ビジョン策定の方向性

10月15日	第7回推進協議会	スマートシティ推進ビジョン(素案)の検討
--------	----------	----------------------

- ・今後については、今回の協議会後の御意見・御提案を踏まえ、重点プロジェクトの精査をする。
- ・精査に当たっては、更にヒアリングを実施し、プロジェクトを追加するとともに、第5次実行計画(令和4年度予算編成)との整合性を図りながら進めていく必要がある。
- ・令和4年度予算編成は、令和4年1月まで行うこととなっており、重点プロジェクトの精査を12月末まで実施する予定である。

令和4年

1月19日	第8回推進協議会(スマートシティ推進ビジョン(最終案)の検討について)
3月	パブリックコメントの実施、スマートシティ推進ビジョン策定